

特定非営利活動法人  
とよなか市民環境会議アジェンダ 21  
2006 年度（平成 18 年度）総会  
議 案 書

と き 2006 年 6 月 21 日（水）15 時 20 分より  
ところ 豊中市民会館大集会室

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21  
2006 年度（平成 18 年度）総会

次 第

- 1 . 開会
- 2 . 理事長挨拶
- 3 . 来賓挨拶
- 4 . 議長の選任
- 5 . 議事録署名人の選任
- 6 . 総会定足数の確認
- 7 . 議案
  - 事業報告
    - 第 1 号議案 2005 年（平成 17 年度）度事業報告について
    - 第 2 号議案 同収支決算報告について
    - 第 3 号議案 同監査報告について
  - 事業計画
    - 第 4 号議案 2006 年（平成 18 年度）度事業計画について
    - 第 5 号議案 同収支予算書について
  - その他
    - 第 6 号議案 定款の変更について
    - 第 7 号議案 役員の選任について
- 8 . 議長の解任
- 9 . 閉会

議案書目次

2005 年度（平成 17 年度）事業報告 .....	1
2005 年度（平成 17 年度）収支計算書 .....	34
2005 年度（平成 17 年度）貸借対照表 .....	35
2005 年度（平成 17 年度）財産目録 .....	36
2005 年度（平成 17 年度）監査報告 .....	37
2005 年度（平成 17 年度）役員名簿 .....	38
2006 年度（平成 18 年度）事業計画（案） .....	39
2006 年度（平成 18 年度）収支予算書（案） .....	47
定款変更（案） .....	48
新役員名簿（案） .....	49
定款 .....	50

## 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 2005 年度（平成 17 年度）事業報告

### 1. 全体のふりかえり

2005 年度は、以下の（1）～（3）の3つの全体方針を掲げて活動を進めました。この3つの方針ごとに NPO 法人の活動全体をふりかえります。

#### （1）「より活動を広げていきます」

より多くの人があらゆる場面で関われるよう、活動の幅を広げたり、参加の機会を増やしていくような取り組みを行い、活動の中で仲間を増やしていくように心がけること、また、新しい取り組みにも積極的に挑戦することを掲げました。

2004 年度に始まった、「服部緑地・天竺川周辺『地域の魅力・顔づくりプロジェクト』推進連絡協議会」や、「ESD（持続可能な開発のための教育）とよなか」の取り組みに参画し、地域組織や市内の他団体と協働し、より地域に根ざした広範囲な人々と一緒に取り組めるような活動を進めました。また、例年開催している「とよなか市民環境展」についても、より多くの方に参加していただけるよう工夫したところ、来場者数は2日間で約1,800人と前年度より増加しましたが、目標の2,000人には達しませんでした。

新しい取り組みとしては、教育委員会による「文化体験プログラム」、「社会教育活性化推進委員会」の事業、「おおさかレインボウぶるじゅくと」など大阪府の事業、環境省のきんき環境館の事業への参加など新たな連携につながる事業を実施しました。部会・プロジェクト活動では、産業部会を中心に機密書類リサイクルプロジェクトを立ち上げ、事業化の検討を行うなど、活動の広がりを見せています。

#### （2）「広い意味での環境学習の機会を増やしていきます」

学校や子どもだけでなく、さまざまな場所であらゆる年代の人に対して、環境に関する意識を高め、自ら行動したり、多くの人と取り組みを始められるような学びの機会を増やしていくことを掲げました。

理事会では理事の役割分担を行い、その中の環境学習担当では当法人が提供できる環境学習プログラムを紹介する「環境学習リスト」を作成しました。これは、学校や地域などで行われる環境学習の場に、講師派遣などお手伝いができるメニューをリスト化したものです。これを配布することで環境学習が進むことを期待しています。

また、今年度の全体事業としては、昨年に引き続き学校へのとよなか市民環境展参加の働きかけ、ESD とよなかの取り組みを行い、新たに教育委員会の事業への参画などを行いました。部会・プロジェクト活動では、学習会など市民・事業者への情報提供のほか、自然部会による自然ふしぎ発見クラブの開催や「どんぐり山を守り育てる会」が行う環境学習への協力、花と緑のネットワークとよなかによる食育の取り組みなど、環境学習の機会を増やしました。

#### （3）「成果を確認し、次に活かしていく仕組みづくりを検討します」

「豊中アジェンダ 21」を確実に推進していくため、その進行管理の仕組みづくりについて検討を始めることを掲げました。

「豊中アジェンダ 21」の見直し作業の中で評価・検証の仕組みを検討し、6月の総会で改定版が了承されました。また、2005年3月に改定された豊中市環境基本計画の進行管理と合わせ、環境報告書を改定し、その中で豊中アジェンダ 21 の進行管理に活用できるよう豊中市環境政策室とともに検討を行いました。

## 2. 全体活動

### (1) NPO 法人運営

#### ア 会員の状況

2006年3月31日現在の会員数は以下の通りです。

	正会員	賛助会員	合計
個人	131人	8人	139人
団体	42団体	2団体	44団体

2002年6月に「豊中アジェンダ21推進会」として設立して以降の年度ごとの会員数は以下の通りです。毎年わずかずつの増加となっています。

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
個人	110人	115人	121人	139人
団体	31団体	38団体	41団体	44団体

#### イ 総会

2005年度の通常総会を以下の通り開催しました。すべての議案が提案どおり承認されました。

当日はNPO法人総会に先立ち、「京都議定書発効と私たちの活動～地域で進める温暖化防止」と題して、能村聡さん（NPO法人環境エネルギー政策研究所）による講演会と、とよなか市民環境会議の総会が行われました。

開催日 2005年6月30日（木）

時間 15時30分～16時30分

場所 豊中市民会館大集会室

出席者 145人（内委任状62人、当日の会員数177人）

来賓 豊中市長 一色貞輝さん

豊中市議会議長 前田雄治さん（代理：同副議長 岡本重信さん）

議長 岸田興次さん

議事録 署名人：浅井正さん、松本健治さん 作成：廣田学さん

議案 第1号議案 2004年度（平成16年度）事業報告

第2号議案 2004年度収支決算報告・貸借対照表・財産目録報告

第3号議案 2004年度監査報告

第4号議案 2005年度事業計画承認

第5号議案 2005年度収支予算書承認

その他 役員の変更・理事長の交代

#### ウ 理事長の交代

6月30日をもって、前理事長の河野猪太夫さんが退任されることになりました。理事会では、理事長選考委員会を設置し理事長候補者を選考したうえで、5月の理事会において新理事長の選任を議決しました。

#### 理事長選考委員会

委員長：宮田健さん 委員：山口壽さん、茨木かづ子さん、森岡秀幸さん、高島邦子さん

開催日：4月15日・4月21日（2回）

新理事長 新開悦子さん

## エ 理事会

理事会は基本的に隔月の第4月曜日に開催しています。理事会を開催しない月は理事協議会を開催しています。

開催日	議題	出席者数
4月25日	アジェンダ見直し / 今年度予算 / 総会議案書作成 / 豊中まつり / その他	13人
5月23日	理事長の選考 / 理事の退任 / 総会 / アジェンダ見直し / 特別理事会 / その他	12人
6月20日	総会議案書 / 総会当日 / アジェンダ改定版 / 特別理事会 / 副理事長 / その他	15人
8月22日	理事 / アジェンダ改定版の印刷 / 環境展 / 社会教育活性化事業 / 環境情報サロン / その他	11人
10月24日	環境展 / その他	12人
12月26日	環境展 / その他	12人
2月27日	アジェンダパンフレット / 環境学習 / 今年度の活動報告と来年度の活動計画 / その他	12人

また、理事の役割分担による取り組みも以下のように進めました。

### 環境学習担当

環境学習担当理事と京都大学大学院のインターン生とが協力し、当法人が提供できる環境学習プログラムのリストを作成しました。今後、学校や各施設・団体に配布し、実際に環境学習プログラムを行いながら、プログラムの充実や実施体制の整備を図っていききたいと考えています。

### 環境情報サロン運営担当

環境情報サロンの管理やサロンを有効に活用するための工夫について話し合い、屋外に掲示板を設置したり、サロンでのイベント企画などを検討しました。

## オ 特別理事会

特別会員によって、NPO 法人の活動について専門的な立場から検証・評価・提案するための特別理事会を2004年度に引き続き、第2回目の特別理事会を以下の通り開催しました。

日時 2005年6月22日(水) 16:00～17:30

場所 環境情報サロン2階会議室

出席者 特別会員4人(西川民義さん、平尾和さん、高田直俊さん、直田春夫さん)

アジェンダ役員13人

議題 ・とよなか市民環境会議アジェンダ21の活動について

・豊中アジェンダ21改定版について

特別会員名簿(順不同、所属等は開催日時点のものです)

氏名	所属等
一色 貞輝	豊中市長
西川 民義	豊中市環境部長
中川 健一	共同通信大阪支社
高橋 秀行	岩手県立大学総合政策学部 教授
弘本由香里	大阪ガス(株) エネルギー文化研究所
平尾 和	NPO 法人とよなか市民活動ネットきずな 事務局長
内藤 正明	NPO 法人循環共生社会システム研究所 所長
槇村 久子	京都女子大学現代社会学部 教授
中口 毅博	NPO 法人環境自治体会議環境政策研究所 所長

高田 直俊	元大阪市立大学大学院工学研究科 教授
新田 保次	大阪大学大学院 工学研究科 教授
野村 公平	弁護士（大阪北生活協同組合監事）
直田 春夫	NPO 法人 NPO 政策研究所 専務理事

### カ インターンシップの受け入れ

事務局では大学からのインターンシップ研修を受け入れています。豊中市職員研修所を通じた受け入れや各大学のインターンシップ制度により様々な期間の受け入れとなっています。

大学名	学部・学科・専攻など	人数	期間
大阪外国語大学	国際文化学科開発環境専攻	1人	8月1～12日（14日間）
追手門学院大学	経済学部国際経済学科	1人	8月22日～9月2日（14日間）
梅花女子大学	生活環境学科	1人	8月22日～9月5日（14日間）
近畿大学	生物理工学部	3人	8月9・20・27日（3日間）
京都大学大学院	地球環境学舎	1人	8/22～2月28日（約6ヶ月間）

### （2）環境情報サロンの運営

豊中市の施設である「環境情報サロン」の運営管理を当法人が受託し、法人の事務局を置いています。運営に当たっては、当法人の常勤の専従職員以外に、活動メンバーが半日ずつの交代で日常管理業務に携わっています。

開館日 月曜日～金曜日（年末年始、土曜日、日曜日、休日は閉館）

開館時間 午前10時～午後4時

- 事業概要
- ・環境関連の図書・雑誌やビデオ、各種情報誌等の閲覧コーナー
  - ・パソコンによる環境情報の閲覧コーナー
  - ・環境啓発に関する各種催し

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
来館者数	429人	267人	307人	251人	370人	247人	248人
月	11月	12月	1月	2月	3月	2005年度 合計	2004年度 (6月～3月)
来館者数	311人	230人	266人	225人	274人	3,425人	1,986人

### （3）「豊中アジェンダ21」の見直し

1999年3月に策定された「豊中アジェンダ21」の中間見直しを2003年度から「豊中アジェンダ21見直し委員会」を設置して検討してきました。「豊中アジェンダ21」の策定主体は「とよなか市民環境会議」ですが、実質的な改定作業はこの「豊中アジェンダ21見直し委員会」が担いました。見直し結果は改定版としてとりまとめ、2005年度のとよなか市民環境会議総会で承認されました。その後、改定版の冊子及びパンフレットを印刷し、配布しています。

実施日	内容	場所
4月8日	「豊中アジェンダ21改訂版（原案）」に対する意見募集実施	
6月7日	拡大見直し委員会（見直し委員会＋アジェンダ理事会）	環境情報サロン
6月16日	とよなか市民環境会議役員会で報告	市役所
6月22日	特別理事会で報告	環境情報サロン
6月23日	環境審議会での報告	市役所

6月30日	とよなか市民環境会議総会で承認	市民会館
9月13日	見直し委員会で冊子・パンフレットの作成作業	環境情報サロン
10月12日	見直し委員会で冊子・パンフレットの作成作業	環境情報サロン
12月20日	見直し委員会で冊子・パンフレットの作成作業	環境情報サロン

#### (4) とよなか市民環境展 2005 の開催

例年開催している「とよなか市民環境展」を今年度も開催しました。

##### ア 概要

メインテーマ ちょこっとエコ

サブテーマ 温暖化防止のヒントいっぱい

開催日時 2005年12月2日(金)・3日(土) 両日とも10:00～16:00

開催場所 豊中市市民会館 大集会室・ホワイエ・第1・2・3会議室・屋外北側スペース  
 アクア文化ホール(2日のみ)・豊島公園(3日のみ)

主催 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

共催 豊中市・とよなか市民環境会議

後援 豊中市教育委員会

出展団体 52団体(昨年度は49団体)

来場者数(出展団体関係者含む) 12月2日 約1,090人

3日 約710人

合計 約1,800人(昨年度は約1,500人)

来場した学校 6校(昨年度は6校)

環境クーポン参加店舗 19店舗 (昨年は18店舗)

利用者数 160人 (昨年は134人)

- 主な内容
- ・市民団体・企業・行政・学校などの環境活動・情報展示
  - ・竹炭・竹酢の有料頒布、「とよっぴー」で育てた野菜・減農薬野菜の有料頒布
  - ・企画展示「エコな暮らし方と住まい」
  - ・自然物を使った工作教室、滋賀県甲賀の間伐材利用コーナー
  - ・リサイクル図書の頒布
  - ・地球温暖化実験コーナー、ごみの分別体験コーナー、自転車発電体験コーナー
  - ・天然ガス自動車、機密書類リサイクル用処理車の展示、ソーラーカーの展示・試走
  - ・スタンプラリー
  - ・映画「デイ・アフター・トゥモロー」上映
  - ・子どもたちの環境への取り組み発表
  - ・曽根駅周辺で使える環境クーポン券の発行

##### イ 実施体制

とよなか市民環境展の企画・運営・実施に際しては、NPO 法人事務局のほか、出展・参加団体および主催・共催関係者による全体事項の合意・確認等を行う場としての実行委員会および、環境展開催に関する企画・交渉・広報などの運営作業を行うために、当法人の各部会・プロジェクトおよび豊中市環境政策室、ボランティア市民により構成されたプロジェクト(メンバー15人)を設置し、その中で検討しながら進めました。

実施日	会議名	場所	参加者数
8月29日	第1回プロジェクト会議	環境情報サロン	13人

9月13日	第2回プロジェクト会議	環境情報サロン	12人
9月16日	企画班	環境情報サロン	
9月22日	第1回実行委員会	市役所	21人
9月27日	広報班	環境情報サロン	
10月4日	広報班	環境情報サロン	
10月19日	第3回プロジェクト会議	環境情報サロン	
11月1日	第2回実行委員会	市役所	22人
11月7日	第4回プロジェクト会議	環境情報サロン	
11月22日	第3回実行委員会	くらしかん	25人
11月28日	第5回プロジェクト会議	環境情報サロン	
12月20日	第6回プロジェクト会議	環境情報サロン	
12月20日	第4回実行委員会	くらしかん	18人

### (5) 社会教育活性化推進委員会事業

教育委員会地域教育振興課が事務局となり、大阪大学総合学術博物館、教育センター、青少年課などが参加した委員会を組織し、2ヵ年の事業として実施しています。今年度はこの中で「家族科学教室」事業を当法人が中心となって実施しました。当法人としては、待兼山に関して大阪大学とつながりができたり、阪急電鉄との協働事業が実施できたことなどの成果が得られました。

実施日	行事名	概要	場所	担当	参加者
7月27日	環境びっくり箱 親子で楽しむエコツアー	豊中市内の環境配慮型施設を見て回る	環境情報サロン 花と緑の相談所 特養老人ホームふるる あけぼのドロップスリサイクル交流センター	企画屋本舗	26人
10月15日	親子でワクワク 食の循環体験教室	施設やとよっぴーの説明・さつまいも収穫	緑と食品のリサイクルプラザ	花と緑のネットワーク	9人
10月22日	自然ふしぎ発見 クラブ「どんぐりのふしぎ」	どんぐりを使った工作など	豊島公園	自然部会	17人
11月26日	自然ふしぎ発見 クラブ「マチカネワニに会いに行こう」	自然観察・博物館見学など	大阪大学構内・待兼山・待兼山修学館など	自然部会	24人
2月18日	親子でたのしみ 学ぶ 畑の巻	とよっぴー農園で、野菜について学び、農業体験	光久農園	花と緑のネットワーク	22人
3月4日	親子でワクワク エコ体験「電車に乗って温暖化防止」	阪急電車を利用して、公共交通と地球温暖化を考える	阪急豊中駅 曽根駅 環境情報サロン	生活部会	28人
合計	6回				126人



### (6) 服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会事業

大阪府池田土木事務所、豊中市環境政策室と協働で事務局を担い、表記の協議会活動を実施しました。服部緑地から天竺川側沿いにつながる緑や河川を一体として捉え、地域の中でそのあり方を考えていくプロジェクトです。(ホームページ: <http://tenjiku.ptu.jp/>)

実施日	内容	内容	場所
5月24日	第3回協議会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成16年度の事業報告</li> <li>平成16年度に係る決算報告</li> <li>「規約」の改正</li> <li>平成17年度の事業計画(案)</li> </ul>	市役所
8月27日	イベント「みんなで天竺川を知ろう、遊ぼう！」	<ul style="list-style-type: none"> <li>天竺川の清掃</li> <li>川の歴史と治水のお話</li> <li>生物観察</li> <li>閉鎖区域の利用試験イベント</li> <li>協議会の紹介</li> </ul>	天竺川西願寺橋周辺
10月5日	第4回協議会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>経過報告</li> <li>今後の活動予定(河川整備計画への提言など)</li> <li>今年度予算(案)について</li> </ul>	市役所
12月2~3日	「とよなか市民環境展2005」へ出展	参加団体の展示コーナー(豊中市民会館)にパネル展示	市民会館
12月18日	「地域協働いきいきネット大阪第3回フォーラム in 岸和田」へ出展	ポスターセッションに参加・展示	岸和田市
2月22日	第5回協議会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>経過報告</li> <li>今年度残事業と予算(最終案)について</li> <li>来年度事業方針と今後の進め方について</li> </ul>	市役所
3月31日~	地域へのアンケートの実施	天竺川、閉鎖区域、協議会についての意向	
4月6日(3月30日の予定が順延)	イベント「天竺川あたりの春をさがしに行こう！」	<ul style="list-style-type: none"> <li>天竺川沿いの絶景スポット探し</li> <li>普段入れない場所へ探検(天竺川・閉鎖区域)</li> <li>原っぱでお昼ごはん</li> </ul>	緑地小学校 ~天竺川西願寺橋周辺

### (7) ESD とよなか事業

2005年1月より国連「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」が始まり、地域でもこのESDを進めようと、豊中においてNPO、市の外郭組織、市、教育委員会などがゆるやかな連携で取り組みを始めています。当法人としては、広い意味での環境学習(あらゆる年齢層への働きかけ、人材育成、参加)に資する取り組みとして今後の活動の広がりにつながることを期待し、積極的に参画しています。(ホームページ: <http://www5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/esd/>)

実施日	内容	場所
4月15日	学習会「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」が目指すもの~ユネスコとESD-Jからのメッセージ 講師: デレック・ジェームス・エリアスさん(ユネスコバンコク・ESDアジア太平洋コーディネーター) 村上千里さん(NPO法人ESD-J事務局長)	国際交流センター

4月23日	ワークショップ Part	人権まちづくりセンター
5月10日	事務局会議	国際交流センター
5月24日	事務局会議	国際交流センター
6月9日	事務局会議	国際交流センター
7月8日	学習会「市民がつくる未来への学び～地域からの新しい学びと参加のしくみをつくる～」 講師：森良さん（NPO 法人エコ・コミュニケーションセンター代表）	国際交流センター
7月9・10日	ESD ファシリテータートレーニングコース 講師：森良さん（NPO 法人エコ・コミュニケーションセンター代表）	すてっぴ
7月21日	事務局会議	刀根山小学校
7月30・31日	チャレンジ 写真ワークショップ in 刀根山 講師：浅野哲司さん（朝日新聞社）	刀根山小学校
8月30日	事務局会議	国際交流センター
9月26～30日	写真展「アジア・素顔の子どもたち」 パネル展「共に生きる ひと、しぜん、まちの再発見」	市役所第二庁舎ロビー
10月4日	事務局会議	国際交流センター
10月14日	事務局会議	国際交流センター
11月5日	とよなかワークショップ Part	リサイクル交流センター
11月15日	事務局会議	国際交流センター
11月26・27日	すてっぴフェスタでパネル展示	すてっぴ
12月2日	とよなか市民環境展でパネル展示	アクア文化ホール
12月3日	大阪ヒューマンフェスタでパネル展示	アクア文化ホール
12月9日	ウィークリーサロン「一杯のコーヒーから始まる ESD」で講師派遣	市民活動情報サロン
12月13～18日	浅野哲司写真展「アジア・素顔の子どもたち」	市民ギャラリー
1月5日	事務局会議	国際交流センター
1月13日	開発教育連絡会議（関西ブロック）で事例報告	JAICA 大阪国際センター
2月5日	ボランティアフェスティバルでパネル展示	市民会館
2月23日・3月2・16・23日	赤ちゃんからの ESD	千里公民館
3月19日	学習会「持続可能な開発のための教育（ESD）の10年」とは～世界・日本・東海地域と豊中の取り組み～ 講師：森実さん（NPO 法人 ESD-J 理事、大阪教育大学教授） 新海洋子さん（NPO 法人 ESD-J 理事、環境省・中部パートナーシップオフィス チーフプロデューサー）	国際交流センター

### (8) おおさかレインボウぶろじえくと

大阪府の事業で、関西雨水市民の会が中心に実施している雨水利用を推進する2カ年のモデル事業に、雨水モニターとして参加しています。メーカーから提供を受けた雨水タンクを当法人の事務所のある環境情報サロンに設置し、環境活動に活用しています。

(ホームページ：<http://www.epcc.pref.osaka.jp/kanri/jyunkan/usui/reibow.html>)

実施日	内容	場所
5月29日	雨水モニター説明会	INAX 四ツ橋ショールーム
6月24日	環境情報サロンに雨水タンク設置(250)	環境情報サロン
8月20日	雨水モニターワークショップ(不参加)	INAX ショールーム
8月6・7日	豊中まつりでの打ち水大作戦に活用	豊島公園
12月2・3日	とよなか市民環境展で展示(大阪府・関西雨水市民の会による出展)	市民会館
12月15日	雨水セミナー「みんなで進める雨水利用」開催(参加16人)	くらしかん

### (9) 文化体験プログラム

文化体験プログラム実行委員会(事務局：教育委員会地域教育振興課)に、事務局長井上和彦が委員(副委員長)として参加し、公募した子ども達を対象に、豊中市内の穂積遺跡で発掘された縄文時代の貝の標本作りやフィールドワークを通じて、豊中の環境の変遷などへ理解が深まる体験型プログラムの実施に参画しました。完成した標本は環境展でも展示されました。

実施日	行事	内容	場所
5月17日	第1回実行委員会	実行委員会会則、役員選出、プログラムの事業展開について	市役所
6月24日	第2回実行委員会	広報と参加者募集、大阪府との契約、プログラムの詳細について	市役所
7月7日	第3回実行委員会	申込状況、第1回の体制、9月以降の事業展開について	市役所
7月16日	第1回プログラム	縄文時代の貝、遺跡や発掘について説明	中央公民館
7月30日	第2回プログラム	土の中から貝を取り出し洗う	郷土資料室(東丘小)
8月9日	第3回プログラム	現在の遺跡とその周辺の地形観察、博物館見学	阪急曽根～服部 大阪市立自然史博物館
8月24・25日	第4回プログラム	貝の標本作り	郷土資料室(東丘小)
9月17日	第5回プログラム	現在の海辺と貝の様子を観察	加古川河口付近
11月13日	展示準備作業	展示の準備とまとめ	郷土資料室(東丘小)
12月2・3日	とよなか市民環境展	標本とまとめの展示	市民会館
2月3日	第4回実行委員会	行事の報告、予算執行状況、報告書・標本利用の手引き、標本箱の寄贈先について	市役所

### (10) 他団体・他自治体との連携・交流

ア 各種イベント参加

豊中市や関係団体などが主催する行事・イベントへも以下の通り参加しています。

開催日	行事名	参加内容	場所
4月26日	リサイクル交流センター開所式	式典、記念講演、パネル展示(～30日まで)	リサイクル交流センター
4月29日	リサイクル交流センターオープンイベント	スタンプラリーポイント(約100名が来館)	環境情報サロン
4月29日	スプリングフェスタ	とよっぴー配布、自然工作教室、パネル展示、理事長の講演会	花とみどりの相談所
4月29日	連合豊中メーカーリサイクルバザー	野菜・竹炭販売、収益金はアジェンダに寄付	豊島公園
6月26日	映画「森の学校」試写会	試写会準備委員会に参加	教育センター
8月7・8日	豊中まつり	環境情報サロンパネル展	豊島公園
9月1～30日	市民活動情報サロンウインドー展示	豊中の自然を中心に竹炭やアジェンダについての展示	市民活動情報サロン
10月22日	環境フォーラム	豊中アジェンダ 21 改定版の説明	すてっぷ
10月29日	生活展	野菜・竹炭の頒布、自然工作、ポイントラリーなど	くらしかん
11月13・14日	大阪府環境フェスティバル	パネル展示、自然工作教室など	万博公園
11月20日	上下流連携の森づくりの集い(甲賀愛林クラブ)	とよなか消費者協会、くらしかんなどと交流事業に参加	滋賀県甲賀市
2月26日	しょうない多文化フェスティバル	ごみ分別ゲーム	庄内文化センター

#### イ くらしかん登録グループ

豊中市生活情報センターくらしかんの登録グループに登録し、毎月グループ連絡会に参加しています。くらしかんのイベントに参画したり、くらしかんと共催事業なども行っています。

#### ウ しょうないモデル事業実行委員会

市民公益活動推進条例にもとづく協働事業提案制度で実施された事業「しょうないモデル事業」の実行委員会に参加しました。

#### エ 第13回環境自治体会議東海村会議への参加

豊中市が会員となっている環境自治体会議に毎年参加していますが、今回は当法人が第1分科会で事例発表を行いました。また、発表者の他に1名が参加しました。

日程：5月25日～27日

発表：第1分科会「京都議定書発効・自治体での実践方法」

#### オ きんき環境館パートナーシップ団体

環境省の近畿環境パートナーシップオフィス「きんき環境館」のパートナーシップ団体に登録しました。今年度は以下の通りきんき環境館で行われた行事に参加しました。

実施日	行事名	参加内容	場所
6月11～25日	エコライフフェア	パネル展示とイベント開催(環境家計簿)	きんき環境館
10月4～14日	近畿の自然を考える	パネル展示とフォーラム参加	きんき環境館

## カ 視察対応

各地から「豊中アジェンダ 21」や当法人の取り組みについて視察の要望があり、可能な範囲で対応しています。今年度は以下の通りです。なお、花と緑のネットワークとよなかでは、緑と食品のリサイクルプラザの施設見学や生ごみ堆肥化事業などの視察への対応を別途行っています。

実施日	視察者
11月10日	愛知県安城市
2月22日	新潟県上越市

## (11) 広報活動

当法人の広報活動としては、ニュースレターの発行、ホームページ作成・更新、毎月の活動案内の送付、「広報とよなか」への掲載、市広報広聴課との情報提供、豊中・池田ケーブルテレビへの出演、講演依頼への対応などを行っています。

### ア ニュースレター

「とよなか環境ニュースレター」を年4回発行しています。企画・編集は広報チームが行い、月に1回ずつ編集会議や校正会議などを行っています。印刷部数は毎号1,500部で、会員への配布、とよなか市民環境会議構成団体や関係団体への送付のほか、豊中市各施設へ配架しています。

発行月	ナンバー	主な内容
2005年6月号	No.11 (通巻29号)	アジェンダ見直し/タンポポ調査/さんぎょうぶかい 学習会/とよっぴー祭り/ミニシンポジウム/生活部会/とよなか市民環境会議/地球環境大賞の授賞式
2005年9月号	No.12 (通巻30号)	特別理事会・理事長あいさつ/総会・講演会/とよっぴー祭り/ごみ学習会/千里川植物調査/エコツアー/環境政策室/機密書類リサイクル
2005年12月号	No.13 (通巻31号)	環境展のお知らせ/自然部会/リサイクルプラザ見学に体験も導入/天竺川プロジェクト/生活部会/環境と私/環境政策室/カレンダーモニター学習会
2006年3月号	No.14 (通巻32号)	環境展インタビュー/羽鷹池クズ刈・タンポポ調査/学校給食/環境展特集/カレンダー学習会・企画屋ウォーク/環境政策室/企業の社会的責任

### イ ホームページ

NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 のホームページの 2005 年度(2005 年 4 月 1 日～3 月 31 日まで)のアクセス数は、8,443 でした。単純計算で、1 日約 23 回のアクセスがあったことになります。(ホームページアドレス：<http://www5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/>)

### ウ 講演依頼

市内外から「豊中アジェンダ 21」や当法人の取り組みについて講演や研修の講師派遣依頼があり、可能な範囲で対応しています。今年度は以下の通りです。

実施日	行事名	主催者	場所	備考
11月11～18日	クリーンランド職員研修	クリーンランド	クリーンランド	5日間
2月17日	京都議定書発効一周年記念行事「環境先進自治体会議」	京都市	京都国際会館	パネルディスカッションのパネラーとして

## (12) 審議会・委員会等への参加

### ア 環境審議会

2004年度から2年間の第5期環境審議会に、当法人から事務局長井上和彦が委員として就任しました。2005年度は4回審議会が開催されました。

実施日	回	内容
6月23日	第7回	環境基本計画(改定)の策定、環境審議会の審議内容・スケジュール、その他
10月3日	第8回	環境報告書(中間報告書)案、環境報告書の改訂、みどりの基本計画の推進、環境学習の地域展開、その他
11月30日	第9回	環境報告書(中間報告書)の審議会評価、その他
2月23日	第10回	環境報告書、環境基本計画の進行管理方策、環境学習の地域展開、みどりの基本計画の推進、その他

### イ 廃棄物減量等推進審議会

第5期廃棄物減量等推進審議会に、当法人から事務局長井上和彦が委員として就任しました。今期は市長より、粗大ごみ有料化に関する意見具申の依頼を受け、4回の審議を経て意見具申しました。

実施日	回	内容
7月27日	第1回	会長選出、審議内容、審議の進め方の確認
9月5日	第2回	粗大ごみ有料化の実施案の検討
11月30日	第3回	粗大ごみ有料化の実施案の検討
2月23日	第4回	粗大ごみ有料化に関する意見具申のまとめ

### ウ 地域交通施策・省エネルギービジョン詳細ビジョン策定委員会

地域交通施策・省エネルギービジョン詳細ビジョン策定委員会に、当法人から事務局長井上和彦が委員として就任しました。この委員会は2004年に策定された地域省エネルギービジョンの中で、運輸・交通に関する項目について詳細に検討する委員会です。

実施日	回	内容
8月31日	第1回	設立、省エネルギービジョン、交通・環境の現状と取り組み、行動計画に関連する事例、現況整理結果からの課題整理、今後のスケジュール
10月25日	第2回	枠組み・基礎調査結果と具体化案、アンケート調査計画、交通環境学習
12月13日	第3回	市民アンケート結果速報、行動計画のとりまとめ方針・CO2削減試算方法
1月25日	第4回	先進都市視察報告、アンケート結果、行動計画の具体化案、CO2削減試算、報告書校正案

### エ ごみ減量推進協議会

ごみ減量推進協議会(事務局:減量推進課)に、当法人から事務局長井上和彦が委員として参加しています。この協議会は2003年に策定された第2次ごみ減量計画「へらそーや33プラン」の達成状況の評価や見直し案の策定を行うもので、2006年度も引き続き開催されています。

実施日	回	内容
11月7日	第1回	協議会の説明、施策評価ワークショップ
11月28日	第2回	施策評価ワークショップ
1月26日	第3回	アンケート調査票、ごみ質調査、施策評価方法
2月28日	第4回	アンケート調査、ごみ質調査、評価シートふりかえり

### オ 市民公益活動推進委員会

市民公益活動推進条例に基づき設置された市民公益活動推進委員会（事務局：市民活動課）に、理事長新開悦子が委員として参加しています。

実施日	内容
4月25日	協働事業提案制度の募集案内
5月27日	市民公益活動推進施策実施状況報告書について
7月21日	協働事業提案制度に基づく協働の提案に関する調査について
7月30日	協働事業提案制度に基づく協働の提案に関する協議について
1月26日	平成16年度施策実施状況報告書を踏まえた平成17年度の取り組みについて、来期市民委員の募集について
2月23日	平成18年度市民公益活動推進助成金書類審査
3月25日	平成18年度市民公益活動助成金公開事業説明会

### カ 環境NPO等情報交流事業実施に係る検討会（大阪府）

大阪府環境情報センターに設置した環境情報プラザを拠点として、環境NPOをはじめ府民、事業者、市町村などの環境パートナーシップの構築を図るための事業の検討会に、当法人から理事上田峯子がメンバーとして参加しました。現在、この事業は大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」として、Webサイトの運営、広報誌の発行が行われています。NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21も登録団体として登録しています。

実施日	回	内容
5月26日	第1回	大阪府環境教育推進方針、環境NPO等情報交流事業、進行役の選出、情報交流のコンセプト・全体的な枠組み、期待されるパートナーシップのあり方、「大阪環境パートナーシップネットワーク（仮称）」の機能・役割
6月16日	第2回	「大阪環境パートナーシップネットワーク（仮称）」の事業内容・運営等
7月7日	第3回	「大阪環境パートナーシップネットワーク（仮称）」の事業展開・意思決定システム等
7月28日	第4回	環境NPO等情報交流事業のまとめ、今後のスケジュール

### （13）その他

実施日	内容	場所
4月14日	第14回地球環境大賞授賞式出席（環境市民グループ賞受賞）	東京・明治記念館
4月15日	地球環境大賞授賞式市長報告・報告会	市役所・環境情報サロン
4月27日	「日本の環境首都コンテスト」表彰式（豊中市が住民参画部門・人口区分別第1位、主催者代表と意見交換）	市役所
9月2日	アジェンダ理事・豊中市環境部職員懇談会	リサイクル交流センター
12月19日	自治基本条例意見交換会	環境情報サロン

### 3. 生活部会

#### (1) エコライフカレンダー（環境家計簿）活動

エコライフカレンダー（環境家計簿）による省エネ型ライフスタイルの普及啓発運動に今年も引き続き取り組みました。エコライフカレンダーは2,500部発行し、2005年モニター数は前年の149人から12%増の167人で、年間を通してデータを提出したモニターは152人とぐっと増えて、地道ではあるが普及啓発の効果は上がっています。

昨年度から発行したモニター通信の「モニター倶楽部」も今年も3回発行（各300部）し、モニターから寄せられた省エネの工夫や環境情報を発信して、モニターとの意見交換、交流を行いました。

2004年モニターから寄せられた、各家庭での二酸化炭素の排出量分析のとりまとめ報告書を2005年5月に350部発行し、モニターや関係先に配布しました。省エネ実践のために活用され、運動の評価につながることを期待しています。

2004年エコライフカレンダー活動のまとめ報告の中で、モニターの世帯別二酸化炭素の排出量（電気・ガス・水道）のヒストグラム（平均分布）による省エネ自己診断の指標作りを試みましたが、充分機能するまでには至りませんでした。

4月にモニター170人を対象にアンケート調査を行い、モニターの省エネ意識、効果、意見感想などについて今後の運動に役立つ貴重な結果が得られました。

#### (2) 環境学習・見学会

学習会は以下の通り4回開催しました。

7月15日（金）豊中市婦人団体連絡協議会の出前環境学習会を豊中駅前すてっぷで行い39人の参加がありました。前半は「温暖化」についての講演、後半は5グループに分かれてワークショップを実施、熱心に意見交換がなされました。

7月22日（金）「ごみ問題」について、減量推進課の池田氏を講師にリサイクル交流センターで実施しました。（参加者28人）

12月7日（水）リサイクル交流センターで環境自治体会議・芝浦工業大学助教授の中口毅さんを講師に招き「環境にやさしい食生活で地球温暖化防止」をテーマに実施しました。詳細な調査データに基づく具体的な話は興味深いものでした。（参加者26人）

18年3月4日（土）「親子でワクワクエコ体験」学習会を阪急電車と共催で実施した。阪急豊中駅での同社が取り組んでいる環境問題の学習会と構内見学、曽根駅高架下でレンタサイクルの見学と説明をしました。環境情報サロンでは家庭でできる省エネの学習を行いました。（参加者はスタッフを含め27人、内子ども8人）

見学会としては、5月18日（水）産業部会と共催で大阪ガスリビングフェア2005（ATC）と泉北製造所・ガス科学館の見学を行い、31人が参加しました。

#### (3) グリーンコンシューマー活動

マイバッグ協議会に協力し、マイバッグ持参率店頭調査として、6月5日（日）・10月5日（水）に市内のスーパー「オアシスタ日丘店」と「大丸ピーコック千里中央店」2カ所の店頭で持参率の調査を行いました。（7人参加）

18年2月5日（日）に阪急曽根駅前と豊中駅前にて行われた近隣2市1町マイバッグ合同キャンペーンに協力参加しました。（9人参加）

実施日	内容	参加者数	スタッフ数
4月～3月 毎月第3土曜日	定例会 毎月1回定例部会を開催、事業活動計画・実施について	年間延べ 169人	



	の検討決定する他、情報・意見交換を行っている。		
5月18日	大阪ガスリビングフェア 2005ATC と泉北製造所と科学館を産業部会と共催	生活部会員 とモニター 31人	
5月23日	「2004年エコライフカレンダー活動のまとめ」発行(350部)モニター、市民環境会議会員ほか関連先へ配布	モニター 167人	11回 延べ69人
6月・9月・3月	モニター倶楽部(モニター通信)の発行 モニターから寄せられた省エネの工夫や意見を掲載。モニターとのコミュニケーション作りのため各300部発行		6回 延べ18人
6月5日	マイバック持参率店頭調査		7人
7月15日	豊中市婦人団体連合協議会の出前環境学習会。「温暖化」についての講演とワークショップを持った。	39人	6人
7月22日	「ごみ問題」について、モニター対象の学習会を開催。	23人	13人
10月5日	マイバッグ持参率店頭調査		7人
10月26～28日	省エネ普及員及指導員の養成 省エネルギーセンター認定の養成研修会に参加	1人	
12月2日発行	豊中市民版 2006年エコライフカレンダー(環境家計簿)の作成。NEDOの助成金を受け2500部作成。とよなか市民環境会議構成団体、NPOとよなか市民環境会議会員・団体、市施設、学校、幼稚園などの団体のほか、12月2日～3日開催の環境展で一般市民に呼びかけ省エネの普及啓発とモニター募集を行った。		12回 延べ94人
12月7日	「食の省エネ」について学習会を開催	26人	10人
2月5日	マイバッグキャンペーン(曾根・豊中駅前)		9人
3月4日	「親子でワクワクエコ体験学習会」阪急電車と共催	28人	8人

#### 4. 自然部会

2005年度も自然の豊かな豊中にするため、「楽しみ学ぶ」、「守り育てる」、「造り広げる」の3つのテーマで活動を進めました。

##### (1) 自然観察会

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
5月21日	初夏の自然観察会 若葉の香にひたりながら、豊中で見られないような植物の生育のようすを観察する	池田市五月山公園、及び展望台(秀望閣)周辺	11人	11人
7月22日	水生生物観察会 清流にすむ生き物を調べよう	箕面川(竜安寺上流200m近辺)	52人	11人
9月16日	秋の鳴く虫観察会 秋の夜、緑地環境豊かな所では虫の合唱が聞ける。その事を実感しながら、参加者に緑環境保全を考えていただく。	服部緑地公園	27人	9人
11月12日	秋の自然観察会	千里図書館前集合	31人	8人

	おおさか山の日『島熊山を歩こう』 大阪府が提案する“おおさか山の日”の主旨に賛同し身近な里山に親しむ	～島熊山～千里少年文化館南の森解散		
2月4日	水鳥観察会 冬の渡り鳥、カモを主体に身近な池で観察	服部緑地公園	34人	9人
合計	5回		155人	48人

## (2) 連続自然学習講座

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
12月10日	森林保全と地球環境 森林を含めた植物の果たす役割などを学ぶ。 講師：横田岳人さん(龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科講師)	中央公民館 視聴覚室	16人	2人
1月21日	竹林の現状と里山再生 豊中の自然、里山再生への知恵を学ぶ。 講師：柴田昌三さん(京都大学大学院地球環境学堂助教授)	中央公民館 視聴覚室	29人	2人
3月4日	鳥の生態と自然環境の保全 鳥の生態や近隣に生息している鳥類の様子や鳥類と自然環境の関係等を学ぶ。 講師：栗谷至さん(アイケー環境システム株式会社代表取締役)	中央公民館 視聴覚室	19人	2人
合計	3回		64人	6人

## (3) 自然ふしぎ発見クラブ

次世代を担う子ども達とその保護者を対象に、身近な自然のふしぎを発見し、自然の見方、触れ合い方を知ってもらおう行事をほぼ毎月1回開催しています。

実施日	内容	場所	参加者数			スタッフ数
			子ども	おとな	計	
4月23日	島熊山の雑木林と若竹さがし	島熊山	12人	8人	20人	3人
5月28日	「草花で遊ぼう」春の草花を観察してみよう	豊島公園	3人	2人	5人	2人
6月25日	梅雨どきの生物観察	豊島公園	9人	6人	15人	2人
7月23日	セミとセミの抜けがら観察	豊島公園	3人	3人	6人	2人
8月20日	豊中の夏山へ行ってみよう、豊中の夏山を歩こう	島熊山	3人	4人	7人	3人
9月24日	豊島公園の虫をさがそう	豊島公園	8人	7人	15人	4人
10月22日	どんぐりで作ろう	豊島公園	9人	9人	18人	3人
1月28日	春の七草さがしと七草がゆ	豊島公園	6人	7人	13人	3人
2月25日	冬の水鳥を見に行こう ～親子で耐寒ウォーク～	豊島公園～猪名川(利倉橋)	3人	3人	6人	3人
3月25日	小さな春をさがそう	豊島公園	1人	1人	2人	3人
合計	10回		57人	50人	107人	28人

#### (4) 自然を守る活動

実施日	内容
4月22日	島熊山の保全活動
5月10日	羽鷹池周辺クズ刈り等
6月7日	旧猪名川堤防林
7月28日	春日町(ヒメボタル生息地)草刈
9月8日	天竺川清掃
12月12日	羽鷹池周辺クズ刈り等
12月16日	島熊山の森の手入れ
1月17日	春日町竹林整備
2月21日	春日町竹林整備

#### (5) 調査活動

##### ア タンポポ調査

大阪では1975年から5年毎に実施されてきたタンポポ調査について、30年目に当たる今年度は近畿2府5県で統一した方法により一斉調査が行われました。豊中でもこの調査に協力することになり、自然部会では広く一般市民に呼びかけ、多くの方々の参画を得て調査を実施した。なお、近畿全体の調査結果については、タンポポ調査・近畿2005実行委員会により「タンポポ調査・近畿2005 調査報告書」(ホームページ：[http://www.nature.or.jp/shoko/Tampopo/Kinki\\_2005/](http://www.nature.or.jp/shoko/Tampopo/Kinki_2005/))としてまとめられています。

実施日	内容	場所	参加者数
4月9日	説明会・刀根山地区観察会	蛭池公民館	23人
4月10日～5月10日	現地調査		45人
4月25日	調査まとめ・花粉分析	環境情報サロン	
5月2日	調査まとめ・花粉分析	環境情報サロン	
5月16日	調査まとめ・花粉分析	環境情報サロン	
9月9日	まとめ会議	くらしかん	
10月4日	まとめ会議	くらしかん	
10月26日	まとめ会議	くらしかん	
11月7日	冊子印刷製本	くらしかん	
11月19日	報告会	環境情報サロン	

##### イ 植物希少種調査

開発が進み自然が少なくなっていく中で、このままでは豊中には昔からの自然が無くなってしまわないだろうか、と言うようなある種の危機感がわたしたちの間に芽生えました。今のうちにできるだけ豊中の植物を調べ、例えば、豊中版レッドデータブックのようなものを作り、開発に対する歯止めのような役目が果たせないものか、これがこの活動を始めたきっかけでした。活動は、かつての豊中にはどんな植物があったのか、ということから、新修豊中市史自然編の中の、過去に先人たちが残してくれた資料をもとに、その中から外来種を除いたリストを作ることから始め、今年度も以下のような調査を行い、2005年度までのまとめの冊子を作成しました。

実施日	内容
4月18日	会議(今年度の方針について)
4月28日	千里中央、千里東町公園付近、安場池調査
5月13日	刀根山病院調査

6月15日	島熊山調査
7月6日	千里川調査
9月21日	阪大・待兼山調査
10月20日	千里中央公園調査
3月10日	2005年までのまとめ印刷

## (6) ピオトープ作り

宅地造成などでなくなってしまった自然を少しでも取り戻そうと、上野坂に作られた公園（上野坂2丁目第4公園）の一部を自然部会が中心となってピオトープとして整備しました。地元自治会とも話し合いを重ね、4月29日に公園開きが行われました。

実施日	内容
5月8日	話し合い（上野坂会館）
7月3日	話し合い
8月9日	水抜きと話し合い
11月30日	土入れ作業
3月18日	植物植え付け
3月22日	原田育苗圃、植樹選定
3月31日	植樹

## (7) その他

### ア どんぐり山を守り育てる会の活動協力

旧東豊中団地（現在の名称：シャレール東豊中）の建替えて残されたどんぐり山の保全活用を行う、住民を中心としたグループ「どんぐり山を守り育てる会」の活動に協力しました。

実施日	内容	場所
10月6日	どんぐり山の林床手当て体験会	どんぐり山
10月17日	どんぐり山での東豊台小学校環境学習	どんぐり山
11月25日	どんぐり山のふれあい工作体験会（ひまわり会）	第1団地集会所

### イ 待兼山デザインワークショップへの参加

大阪大学キャンパスデザイン室主催の「待兼山デザインワークショップ」へ参加しました。第4回目には、待兼山の自然についての情報提供と当法人の活動紹介を行いました。

実施日	内容	場所
1月19日	第1回 待兼山地域の個性・課題発見	大阪大学イ号館・中山池周辺
1月27日	第2回 まちとキャンパスの相互理解	大阪大学待兼山・大学周辺
2月10日	第3回 将来像とデザインの議論	大阪大学イ号館
2月23日	第4回 デザイン案を基にした意見交換、新しい展開	大阪大学イ号館

### ウ みどりのワークショップへの参加

豊中市公園みどり推進課主催の「みどりのワークショップ」に参加しました。

実施日	内容	場所
10月22日	第1回	すてっぷ
1月14日	第2回	花とみどりの相談所
2月18日	第3回	花とみどりの相談所

## エ イベント協力

実施日	内容	場所
4月29日	スプリングフェスタ(クラフト)	花とみどりの相談所
5月28日	ヒメボタル観察会	春日町 野畑図書館
7月17日	こども工作クラブ	国際交流センター
7月20日	工作研究会	千里公民館
8月6・7日	豊中まつり	環境情報サロン
8月25日	「木で作るおもちゃ」間伐材を使って(くらしかんと共催)	くらしかん
10月4~14	きんき環境館「近畿の自然を考える」パネル展示	きんき環境館
10月14日	近畿の自然を考えるフォーラム	OMMビル2階会議室
10月29日	生活展	くらしかん
10月30日	健康ふれあいウォーク(ポイント)	千里中央公園
11月12・13日	大阪府環境フェスタ	万博公園
12月2・3日	とよなか市民環境展	市民会館
1月6日	春の七草を楽しもう(くらしかん協力事業)	くらしかん

## オ 研修・その他

実施日	内容	場所
4月27日	勉強会(虫の話)	環境情報サロン
6月1日	自然部会研修会	奈良春日山原生林
7月29日	生物指標種について話し合い	くらしかん、市役所
9月1~30日	市民活動情報サロンウインドー展示	市民活動情報サロン
1月19日	高田先生を囲み語る会	くらしかん
2月24日	自然部会親睦会	千里中央公園
2月27日	羽鷹池公園計画現地立会い	羽鷹池
3月10日	ヒメボタル保護者会	野畑図書館
3月28日	みどりの基本計画について話し合い	花とみどりの相談所

## 5. 産業部会

2005年度は講演会・学習会を6回と見学会を1回開催しました。昨年に引き続き簡易版環境マネジメントシステムの学習会や省エネ対策の学習会などを開催した他、今年度は企業の社会的責任(CSR)についても考えてもらう機会を作りました。企業や事業者が社会的責任を果たすために欠かせないのが環境への取り組みであり、環境に配慮した企業活動を推進することにより、社会にも貢献できる事業所体質を作っていくことができるのだということをこれからも伝えていかなければならないと痛感しました。

また、今年度は産業部会のメンバーが中心となって機密書類リサイクル検討プロジェクトを立ち上げました。機密書類と一口で言ってもその内容はさまざまですが、一般の古紙回収には出しにくい、企業や個人の情報が含まれている資料は意外とたくさんあります。いままではそういった資料はシュレッダーがけして燃やしているか、あるいはあまり気にせず古紙回収に出している事業所もあるという実情がわかりました。プロジェクトではそういった資料の機密性を守り、尚且つリサイクルできるシステムができないものかという検討を行ないました。リサイクル実験なども行い検証した結果、多くの課題もあり、また事業として成り立たせることの難しさもわかりました。また、実験に際しては菱光運輸(株)と福

山製紙㈱にご協力をいただきました。今後どのような取り組み方ができるのかはこれからゆっくりと考えてく必要がありますが、いくつかの事業所が一緒になって環境問題に取り組む社会システムづくりの第一歩となりました。

### (1) 講演会、学習会

実施日	内容	参加者数	スタッフ数
7月19日	個人情報保護法と機密書類リサイクル 講師：豊中市廃棄物対策室原料推進課 池田一夫氏 豊中市総務部情報公開課 千原重利氏 松下ホームアプライアンス 菅真一氏 豊中市の事業系廃棄物の中の機密書類の処理の実情についてお話を聞き、個人情報保護における大切なポイントを学んだ。	17人	3人
10月5日	簡易版環境マネジメントシステム説明会 講師：エコアクション21 地域事務局 宇田吉明氏 関西エコステージ研究会 新名康幸氏 (株)フォーミット 谷昌憲氏 (有)小出鉄工所 小出克利氏 エコアクション21とエコステージの説明をお聞きし、取得企業の体験談をお話いただいた。参加者からは取得に際してわからない点などの質問が出された。	24人	3人
12月6日	企業・事業所の社会的責任を考える <講演会>「企業・事業所の社会的責任のあり方」 講師：関西エコステージ研究会 山本武氏 企業や事業所、自治体など幅広く環境マネジメントを指導されている経験を生かし、企業や事業所、自治体が社会的責任(CSR)を果たすというのはどういうことか、近江商人の考え方を例にお話いただいた。 <パネルディスカッション> パネラー：塩野義製薬(株) 清水浩爾氏 阪急バス(株) 中村真一氏 豊中市水道局 榎本弘志氏 とよなか市民環境会議アジェンダ21 井上和彦 それぞれの環境への取り組みをご紹介いただき、これからの企業、事業所、NPOのあり方を話し合った。	25人	3人
1月19日	環境法令の調べ方・まとめ方・守り方 講師：産業部会コーディネーター 佐川直史氏 環境関連法規制の調べ方、読み方、まとめ方、守り方などをコンサルノウハウを使ってわかりやすく説明いただいた。	41人	3人
2月8日	事業者向け燃料削減策とCO2削減について(交通部会と共催) 講師：交通エコロジー・モビリティ財団 加藤信次氏 阪急バス(株) 佐藤俊明氏 東京海上日動リスクコンサルティング(株) 社本憲治氏 豊中市環境部環境政策室 内田武氏	21人	4人

	物流における簡易 EMS「グリーン経営」の認証取得についてと自動車燃料の削減についての学習を行なった。		
3月24日	中小事業者・家庭の上手な熱エネルギーの使い方 講師：(株)フェルコ(ESCO推進協議会) 照喜名二郎氏 大阪ガス(株)北東部エネルギー営業部 岩佐純氏 大阪ガス(株)北東部リビング営業部 山田達治氏 熱・冷熱の省エネ策、省エネ診断事例、最新の省エネ機器について学んだ。	11人	3人
合計	6回	139人	19人

## (2) 見学会

実施日	内容	参加者数	スタッフ数
10月18日	機密書類リサイクル見学会 (株)リープスのトラックによる処理システムの見学をした後、福山製紙を訪れて、古紙を溶解してリサイクルするシステムの見学を行った。	17人	3人

## (3) 機密書類リサイクルプロジェクト

実施日	内容	参加者数	スタッフ数
6月19日	機密書類リサイクル検討会(準備会)	9人	
7月18日	学習会「個人情報と機密書類リサイクル」に参加	6人	
8月3日	第1回機密書類リサイクルプロジェクト会議	9人	
9月15日	第2回機密書類リサイクルプロジェクト会議	8人	
10月18日	機密書類リサイクルシステムの見学	17人	3人
10月～11月	機密書類に関するアンケートの実施		3人
12月12日	第3回機密書類リサイクルプロジェクト会議	7人	
2月16日	第4回機密書類リサイクルプロジェクト会議	7人	
3月27日	機密書類リサイクル実験( )	12人	
3月28日	機密書類リサイクル実験( )	15人	
3月31日	機密書類リサイクル実験( )	11人	
4月27日	第5回機密書類リサイクルプロジェクト会議	6人	
合計		107人	

## 6. 交通部会

2005年度の交通部会は、4月～7月の定例会等で部会活動の進め方を検討しました。具体的な事業としては交通・運輸業者向けの環境マネジメントシステムの学習会のみでした。今後は、市民・事業者・行政の連携を図るような活動を進めることが課題です。

実施日	内容	参加者数
4月21日	定例会 今年度予算と活動計画について	10人

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の活動を振り返って</li> <li>・今年度活動方針検討および事業提案 市との協働 - 省エネビジョン関連 基礎調査等を提案 長期的な目標と、中期、短期の行動計画について。 公共交通への利用転換と利用促進について。 環境家計簿（生活部会）との相互乗り入れ。 グリーン経営のPR。</li> <li>カーフリーデーの趣旨を汲んだ豊中(北摂)での広汎な市民の意識高揚を図る萌芽的事業を！</li> <li>・その他（市人事等）</li> </ul>	
5月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例会</li> <li>・通学路の安全を考えるシンポジウム（後援を検討）</li> <li>・今年度事業の検討</li> <li>・その他</li> </ul>	8人
6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例会</li> <li>事業検討 - 4者会議について</li> <li>その他 - 阪急電鉄の取組紹介</li> </ul>	7人
7月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例会</li> <li>事業検討</li> </ul>	6人
12月2・3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境展</li> <li>・環境展 / 交通部会の展示 パネル3点</li> </ul>	
2月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業部会共催勉強会</li> <li>グリーン経営について（交通エコモビリティ財団）</li> <li>グリーン経営を取得して（阪急バス）</li> <li>デジタコを活用したエコドライブ解析（東京海上日動火災保険）</li> <li>ESTモデル事業について（豊中市）</li> </ul>	25人

## 7. 竹炭プロジェクト

17年度は千里中央公園で活動を始めて10月から4年目に入りました。

竹切りは月2回実施し、その結果竹林全体の4分の3程度を間伐し終えました。とは云っても林内で楽しんで頂くための公園としてあるいは景観上はまだまだなので、再度仕上げの為の作業を行う必要があると感じております。

竹炭焼きは年間9回実施しました。竹炭、竹酢液の製品は市のイベントなどで頒布し、目標額の6万円をオーバーすることが出来ました。

他には竹や小枝を使った工作、公園内の整備清掃を行いました。また7月と12月にはケーブルテレビの取材があり、竹切り作業や製品紹介の放映が行われましたが、多くの方からテレビを見たという声がかかり会のPRになったようです。

### (1) 竹切り 場所：千里中央公園

実施日	メンバー参加者数	体験者数	切った竹概数	備考
4月11日	8人	1人	90本	



4月28日	11人	3人	70本	若竹 200本
5月9日	9人	1人	110本	若竹 180本
5月19日	8人			若竹 320本
6月4日	9人			若竹 265本
6月13日	9人	1人	150本	若竹 150本
6月23日	(4人)		40本	竹炭焼き時
7月5日	9人		95本	
7月13日	7人	6人	165本	
8月9日	5人	1人	65本	
8月31日	7人		75本	
9月6日	8人		85本	
9月20日	8人		60本	
10月12日	8人	2人	105本	
10月20日	8人	2人	45本	
11月7日	8人	2人	60本	
11月16日	8人	2人	80本	
12月7日	7人	1人	70本	
12月14日	9人	4人	110本	
1月18日	8人	1人	55本	
1月26日	9人		80本	
2月7日	8人	1人	100本	
2月15日	8人	2人	115本	
2月22日	8人	7人	50本	ボランティアトレーニング
3月4日	9人	3人	105本	
3月23日	7人	1人	65本	
合計	203人	41人	2,045本	26回(若竹 1,115本)

17年3月31日までの通産 1,980本、通産合計：4,025本

(2) 竹炭焼き 場所：千里中央公園野外炊さん場

実施日	内容	メンバー参加者数	体験者数	備考
4月21日	竹炭焼き	8人		2 窯
4月22日	窯出し	9人		
5月26日	竹炭焼き	9人	2人	3 窯
5月27日	窯出し	9人	2人	
6月23日	竹炭焼き	7人		2 窯
6月24日	窯出し	7人		
9月29日	竹炭焼き	9人	2人	2 窯
9月30日	窯出し	7人	2人	
10月27日	竹炭焼き	8人	1人	2 窯
10月28日	窯出し	6人	1人	
11月24日	竹炭焼き	6人	3人	2 窯
11月25日	窯出し	6人	2人	

1月11日	竹炭焼き	9人	3人	2窯
1月12日	窯出し	9人	3人	
2月22日	竹炭焼き	8人	14人	2窯、22日はボランティアトレーニング
2月23日	窯出し	8人	5人	
3月15日	竹炭焼き	9人	4人	2窯
3月16日	窯出し	8人	3人	
合計		142人	47人	9回

(3) 製品作り 場所：千里中央公園

実施日	内容	メンバー参加者数	体験者数	備考
7月5日	カット、袋詰め	6人		豊中まつり
7月30日	カット、袋詰め	8人		豊中まつり
8月5日	カット、ブラシ	1人		
11月10日	カット、袋詰め	6人		万博フェス、農業祭、環境展
合計		21人	0人	4回

(4) 公園整備と清掃 場所：千里中央公園

実施日	内容	メンバー参加者数	体験者数	備考
9月29日	園内土留め工事	4人		竹炭焼き時
12月14日	林内清掃	7人	4人	
1月11日	園内土留め工事	4人		竹炭焼き時
合計		15人	4人	3回

(5) 竹炭・竹酢液頒布

主としてイベントで頒布しました。(8回)

目標額 60,000 円に対し、70,500 円と好調でした。

(6) 工作

イベントで6回、メンバー研修として1回、計7回、自然部会と合同で行いました。

メンバー参加者数：62人 一般参加者数：228人

(7) その他

市民活動課主催の「健康ウォーキング」に協力しました。

メンバー参加者：6人、参加者数：約800人、場所：千里中央公園

竹炭展示(ドラム缶ごと2基) 千里中央公園のドングリ8種展示

千里中央公園の野鳥の絵(22種)展示 ドングリの試食(炒ったマテバシイ1000粒)

竹材提供

竹工作、ソーメン流しなど12件の提供をしました。

調査及び観察

野外炊さん場の植物調査 千里中央公園の野鳥調査

これらは学習をして今後体験者にも教えられたいと思います。

## 8 . 企画屋本舗

環境問題は重層的に重なりあっています。企画屋本舗ではさまざまな分野にかかわる人や自然、文化、歴史等を自由に組み合わせた活動を展開してきました。今年度もメンバーの7割が現役の社会人で構成されていました。従って、活動にはおのずと制約があり会合も夜に開催しています。仕事を終え、夜またボランティアをするには体力も気力も、そして魅力が必要です。そういう条件の中での活動だからこそ情報を共有化することは大変重要です。

企画するメンバーは少ないですが、毎回企画案に賛同してもらえる他の部会、プロジェクトの方の協力を得て事業をおこなっています。また今後も環境にこだわらず多分野で活動している方々や、地元の方々、専門家とも連携して企画していきたいと考えています。そこにはメンバーが持ち得ない豊富な知識、知恵、技術、等々があり参加者の満足度につながるのは当然のこと、メンバー自身も楽しんで活動できています。

企画屋の目的のひとつである新会員の獲得はなかなか難しいことですが、NPO 法人アジェンダ 21 の組織の認知度も徐々に上がってきています。会員増につなげるためにも、気軽に参加しやすく、楽しい内容を企画したいと考えております。

### (1) 環境塾 環境びっくり箱 親子で楽しむエコツアー

電気を一番よく使う夏こそ、省エネや地球温暖化防止対策について親子で考えるよい機会だと思います。それで、太陽や風を利用した発電の仕組みや緑化の役割などを、公共、民間施設を見学し学びました。

実施日	内容	参加者数	スタッフ数
7月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境情報サロン～サロンの役割、雨水タンク説明</li> <li>・花と緑の相談所～風力、太陽光発電のしくみ、ピオトープ</li> <li>・特別養護老人ホーム「ふるる」～屋上緑化 (はだしで走るこども達の笑顔とそれを観る老人たちの笑顔が印象的)</li> <li>・保育所あけぼのどろっぷす～太陽光発電、屋上緑化 (冷茶の接待を受けたうえ、木のぬくもりのある園内まで見学)</li> <li>・リサイクル交流センター～太陽光発電、リサイクルタイル、工作体験</li> <li>・意見交流会</li> <li>・講師は各施設長</li> <li>・風力、太陽光発電に興味はあるが、仕組みの理解はむづかしい</li> <li>・次回南部地域の施設巡りを企画したい</li> </ul>	19人	7人

### (2) わがまちとよなか再発見！ちょっといい豊中みつけにいこかウォーク

#### ～第6回 昔は海だった?!今は? 曾根・服部西町あたり～

北東部の千里ニュータウン、歴史ある中部、そして活気あふれる南部とさまざまな特色を持った豊中。自分たちのすむ「まち」を環境の視点から切り取り、考えていこうと始めた活動も6年を経過しました。

今回は時を縄文から弥生時代までさかのぼり、貝の化石が採掘された穂積遺跡やマチカネワニ(復元模型)から現在の町並み、事業所のリサイクルの取り組み等を見つけに行きました。

実施日	内容	参加者数	スタッフ数
11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境情報サロン～施設説明</li> <li>・花と緑の相談所～ピオトープの見学</li> </ul>	11人	7人

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊島公園～当時の海岸線が吹田まで続くこと、条里制の遺構と野球場</li> <li>・スーパーニッショー～ごみ分別システム、環境配慮の取り組みの説明</li> <li>・穂積遺跡 ～貝の化石等を採掘した現場に建つマンション</li> <li>・旧穂積村囲い堤跡の道を通り青少年の家いぶき～洪水から集落を守る堤跡、世界的に有名な約 6.5m の巨大ワニの骨格の見学</li> <li>・穂積遺跡 縄文の海 貝化石発掘現場～縄文時代の海底がそのままの状態で見られた住宅での写真説明</li> <li>・豊島温水プール公園～貝の標本を手にしたり、公園で屋上緑化、自然観察など、いいところ探しを体験</li> <li>・講師：清水篤さん（教育委員会地域教育振興課文化財保護係）ニッショー店長</li> <li>・採掘した貝の標本は時間の経過をまざまざと実感できた（環境展でも展示）</li> </ul>		
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

### （３）定例会その他

定例会は毎月一回、環境情報サロンで開催しました。仕事上なかなか定刻には揃いませんが、宿題も含めた課題や得意分野を熱く語り合う時間になっております。また理事会報告もおこない情報共有をしています。

月	内容	参加者数
4月	事業計画、予算案、環境塾の実施計画	6人
5月	環境塾の実施計画、資料準備	5人
6月	環境塾の実施計画、資料作成、現地見	5人
7月	環境塾の実施計画の最終確認、環境塾実施	5人、6人
8月	ちょっといい豊中みつけにいこかウォーク実施計画、環境塾反省	6人
9月	ちょっといい豊中みつけにいこかウォーク実施計画、資料準備、下見	5人、5人
10月	ちょっといい豊中みつけにいこかウォーク実施計画、資料作成	6人、2人
11月	ちょっといい豊中みつけにいこかウォーク最終確認、実施、環境展準備	7人
12月	環境展とその反省	5人
1月	ウォークの反省、環境学習リスト作成案	6人
2月	庄内モデル事業委員会行事参加、環境学習リスト作成案	5人、2人
3月	今年度計画反省、来年度計画案	6人

## 9．花と緑のネットワークとよなか

本年度も充実した事業とそれに付随する活動が順調に実施できました。

昨年度から豊中市の堆肥化助成制度の委託を受け、21回の堆肥化講習会に278人の参加者があり、合計44人の助成制度の成果を得ました。通常の講習に加え、11月のリサイクル交流センターでは、浜在住の農業光久隆晴氏の「生ごみで無農薬有機栽培に挑戦中」の講演や2月のくらしかんではとよっぴー指定農園園長の柳沢俊治氏による「春に向けての土作りと野菜栽培準備」の講演など时期的なニーズにあった内容を盛り込み、講演会開催時にはとよっぴー試供品を参加者に渡すなど、多くの市民が参加できるよう工夫しました。また、小曾根保育所での堆肥化講習会は、地域の住民と他の保育所の用務の

先生も参加され、職員の方が堆肥化実演の様子をビデオに撮っておられ、他の保育所への広がりも期待されています。小曾根保育所の大型堆肥化は、職員がくらしかんの講習に来られたことから発展し、環境展でも展示ブースでダンボール堆肥の実演に取り組み、来場者の注目を引いていました。保育所自らの主体的な活動に広がりつつあります。

堆肥化施設の見学者の対応は、16回 399人でスタッフは55人でした。見学時間も余裕をみて臨機応変に対応できました。今後は見学対応のあり方など活動の参考になるように、終了後簡単なアンケートを配布し相互理解を深めます。

環境教育では報告書にもあるように、小学生の見学では学びの場（学校）と現場をリンクした活動を実施し、あわせて本年度の環境展で「学習成果を発表」する取り組みまで進展したことは特筆できます。

また、堆肥化事業の3周年を記念して初夏に「とよっぴーまつり」を開催し、プレ事業として、堆肥化施設の西側用地 125㎡を市から借り子供たちによるジャガイモ植え付け・栽培を実施できました。まつり当日はあいにくの雨天でしたが300人近くの来場があり、収穫体験には植え付けには参加しなかった若いお父さんにも感動のある企画ができました。〔この事業はとよっぴーの収益によるとよっぴー基金で実施〕

堆肥化施設の東側の植木養生場所も5月から11月まで借用し、食育教育に存分に活用できました。そこでは、原田小学校2年生85名が『大豆』を蒔いて、草抜き・スケッチ・収穫・枝豆試食を体験してもらいました。学校では『大豆新聞』を作成し、乾燥した「まめ」を学校に持ち帰り、石臼できな粉にするなど、総合学習として取り組まれました。子供たちは、大豆栽培することで、カラスや雑草や害虫などの存在を知り、自然の恵みや食べ物に対する感謝の言葉が後日届いた子供たちからの手紙に綴られていました

農地の活用の野菜の頒布では、8回イベントなどで頒布する事が出来ました。

今年は、はじめて学校給食食材にJA北部を通じて6月7月光久農園から青ねぎが提供され、秋にはチンゲン菜、18年2月には春菊（単独校のみ）が供給されました。又、1月25日には豊中産のヒノヒカリ1750kgが全市児童の給食食材に使用されました。実験当初から地産地消を展望してきたアジェンダの活動が「構想」から「実施」できたことは、これまでにいたる関係者の努力の結果であると感謝し、この活動を持続可能な地域社会の取り組みと位置づけ、更に発展させていきます。

堆肥化事業が開始された2002年4月以前の堆肥化実験の時から、箕面市萱野で指定農園としてたくさん野菜を栽培していただいていたのですが、諸事情から2006年3月末で閉園となりました。そのため、種を蒔いて育てていた『玉ねぎ』の苗を箕面市萱野から急きょプラザの農園に移植しています。2006年6月の玉ねぎの収穫も是非、多くの児童による農作業に取り入れ、環境教育に有効に活用していく予定で関係者と調整中です。

堆肥の配布作業と有料頒布活動については、堆肥の有料頒布事業21回、作業メンバーのべ260人、購入者市民1,680人、堆肥の袋詰め作業14回、作業メンバーのべ137人でした。

## （1）定例会

定例会については毎月1回を基本に予定どおり開催できました。事業活動が大変多く、毎回2時間以上の会議になることから、極力短時間で終了するよう努力をしていますが、その結果、重要課題での議論や意思統一が散漫になる可能性もあり、今後とも工夫が必要です。

なお、定例会は江藤さんを座長に開催し、出席者は全体を通じて毎回20人前後です。

実施日	参加者数
4月12日（火）	21人
5月10日（火）	13人
6月14日（火）	13人

7月13日(火)	19人
8月11日(火)	8人
9月13日(火)	14人
10月11日(火)	9人
11月8日(火)	14人
12月13日(火)	20人
1月17日(火)	17人
2月14日(火)	21人
3月14日(火)	18人
合計：12回	187人

## (2)「とよっぴー」の配布・頒布事業について

製造量と配布・頒布用途の総括表

活用用途	市事業所	協力農家	花いっぱい運動	イベント配布	堆肥化講習	有償頒布	製造量合計
配布・頒布量	9,502kg	15,598 kg	2,403 kg	3,301 kg	385 kg	68,611 kg	99,800 kg
割合	9.5%	15.6%	2.4%	3.3%	0.4%	68.8%	100.0%

## (3) 生ごみリサイクルに関する堆肥化支援及び講習会の開催

ア 堆肥化相談・講習会の開催

実施日	主な内容	場所	参加者数	スタッフ数
4月9日	段ボール堆肥実演他	くらしかん	6人	3人
4月27日	堆肥化相談	リサイクルプラザ	4人	2人
5月14日	落ち葉・段ボール堆肥	くらしかん	10人	4人
5月25日	落ち葉・段ボール堆肥	リサイクルプラザ	2人	2人
6月11日	実演と助成説明	くらしかん	6人	2人
6月22日	落ち葉・段ボール堆肥	リサイクルプラザ	2人	2人
7月2日	とよっぴー祭りのイベント テント内で堆肥化相談対応	リサイクルプラザ	30人	2人
7月9日	実演と助成説明	くらしかん	1人	2人
9月10日	実演と助成説明	くらしかん	5人	3人
9月28日	落ち葉・段ボール堆肥	リサイクルプラザ	1人	2人
10月8日	実演と助成説明	くらしかん	2人	3人
10月26日	堆肥化相談	リサイクルプラザ	0人	2人
11月5日	講演:光久隆晴さん「生ごみで無農薬有機栽培に挑戦中」実演と助成説明	リサイクル交流センター	13人	3人
11月9日	実演と助成説明	小曾根保育所	17人	4人
11月23日	落ち葉・段ボール堆肥	リサイクルプラザ	0人	1人
11月29日	堆肥化講習	さわ病院	45人	3人
1月14日	実演と助成説明	くらしかん	3人	4人
2月4日	講演:柳沢俊治さん「春に向けて土作りと野菜栽培準備」実演と助成説明	くらしかん	36人	4人

2月20日	環境学習・ダンボール堆肥実演(4年生)	東豊台小学校	90人	3人
3月4日	実演と助成説明	くらしかん	4人	5人
3月22日	落ち葉・段ボール堆肥	リサイクルプラザ	1人	2人
合計	21回		278人	76人

イ 堆肥化活動助成(容器)の実績

実施日	コンポスト	密閉バケツ	ダンボール堆肥資材
4月9日			3
4月27日			2
5月14日		2	7
5月25日			
6月11日			2
6月22日			2
7月2日			
7月9日			1
9月10日			1
9月28日		2	1
10月8日			2
10月26日			
11月5日		1	
11月9日			10
11月23日			
1月14日			2
2月4日			3
3月4日	1	2	
3月22日			
合計:19回	1	7	36
		44	

(4) 緑と食品のリサイクルプラザの見学対応・環境教育

ア 見学対応

日時	見学団体	見学内容	見学者数	スタッフ数
4月2日	豊中ボーイスカウト8・17団	ジャガイモの植え付けの際、プラザ施設の見学も行った	16人	3人
4月12日	豊中市民の団体	施設の見学説明。プラザ設立の経過とコストを含む現状、ネットワークの活動紹介。とよっぴ-の高い評価とその理由の説明。	19人	3人
4月20日	秋田市議会	パートナーシップの役割分担。NPOとしての責務と活動内容。とよっぴ-の肥料効果。地産地消の試み。	7人	2人
4月26日	子育て親子ほっぺ	ジャガイモ畑の草取りの際、プラザの施設を見学。	40人	3人

4月26日	原田保育所年長	ジャガイモの植え付けの際、プラザ施設を見学。	43人	3人
5月10日	市民公募	とよっぴ-エコツアーで、リサイクルプラザと柳沢農園見学	16人	3人
5月31日	原田小学校 2年生	クラスごとに、堆肥化機械・熟成槽・とよっぴ-をいれた農園の植付けなどを順次誘導して行なった。	89人	9人
6月1日	泉丘小学校 4年生担任	児童見学に先立って、先生が来られ施設の説明と目的を説明した。	5人	1人
6月20日	泉丘小学校 4年生	クラスごとに、堆肥化機械・熟成槽・とよっぴ-をいれた農園の作物などの見学を順次誘導して行なった。	4クラス 120人	4人
8月2日	インターンシップ	施設の見学説明。プラザ、NPO 設立までの経過。ネットワークの活動など。最後の部分はサロンで資料を活用して説明した。時間は1時間。循環こそが持続可能なシステムであることを説明。	1人	1人
8月23日	インターンシップ	施設の見学と説明。プラザ、NPO の設立までの経過。ネットワークの活動。循環こそが持続可能なシステムであることを説明した。規定時間以外はサロンで追加レクチャーを実施。	3人	2人
10月15日	親子ワクワク	サツマイモ収穫体験の際、プラザ施設を見学。	8人	8人
10月26日	市民	今回から単なる見学だけではなく、袋詰め体験を取り入れたが、好評であった。	11人	4人
11月10日	宮城県 石巻市議員	A3 のカラープリント集で説明したが、訴求性が高く印象深い。剪定枝の効果を、牡蠣養殖と森の成分で説明したら、即理解された。	3人	2人
11月15日	山形県 村山市議員 東根市議員	市民提案での始まり、パートナーシップの活動、有料配付の自動車の列、農業体験の子どもの笑顔などの写真に関心を示された。東根市は桜桃の日本一の産地で剪定枝が大量発生するが、残留農薬が多く堆肥利用できない。	4人	3人
1月20日	福島県いわき市	環境教育に関心が深く、とよっぴ-農園の視察、A3 プリント上での子どもの映像が特に興味を引いた。	7人	2人
2月3日	愛知県江南市	質問はとよっぴ-の特徴、生産量、助成金、数量、販売、金額、会員数、活動会員数、一人当たりの手取り金額に集中した。	7人	2人
合計	16回		399人	55人

#### イ 環境教育

日時	団体	内容	参加者数	スタッフ数
4月2日	豊中8・17団 ボーイスカウト	プラザ施設の見学 とよっぴ-祭り収穫体験準備	16人	3人



		ジャガイモ種植え付け		
4月26日	子育て親子ほっぺ	ジャガイモ畑の草取り	親子40人(在宅保育)	3人
4月26日	原田保育所年長	プラザ施設の見学・ジャガイモ種を植える・紙芝居を見る。	園児40人、先生3人	3人
5月24日	原田保育所年長	ジャガイモ畑の草取り、石ころ拾い	園児40人、先生3人	2人
5月25日	子育て親子	ジャガイモ畑の草取り、石ころ拾い	親子40人(在宅保育)	2人
5月31日	原田小学校2年生	プラザ施設見学と食育体験 大豆植える	2年生85人、先生4人	9人
6月10日	原田小学校2年生	大豆手入れ・草取り・スケッチ	2年生85人、先生4人	1人
6月27日	原田小学校2年生	大豆手入れ・草取り・スケッチ	2年生85人、先生4人	3人
6月28日	原田保育所年長	ジャガイモ収穫	園児40人、先生3人	5人
7月2日	子育て親子	ジャガイモ収穫	親子40人(在宅保育)	17人
7月6日	原田小学校2年生	大豆手入れ	2年生85人、先生4人	11人
9月8日	原田小学校2年生	大豆の収穫	2年生85人、先生4人	9人
10月4日	原田小学校2年生	さつまいも掘り	2年生85人、先生4人	6人
10月24日	ほっぺ	さつまいも掘り(柳沢農園)	親子124組375人	3人
1月25日	箕輪小学校	給食で市内のお米が使われたこと の紹介	30人	2人
2月20日	東豊台小学校4年生	食の循環:出前授業	4年生87人、先生3人	3人
合計	16回		のべ1,294人	82人

## (5) 食の循環活動

### ア 野菜の頒布活動

実施日	内容	実施場所	販売野菜	提供農家	購入者数	スタッフ数
4月29日	メーデー	豊島公園	ねぎ、水菜、ほうれん草、サレタス、レタス	光久隆晴農園	90人	10人
7月2日	とよっぴーまつり	緑と食品のリサイクルプラザ	ジャガイモ、玉ねぎ、なすび、ねぎ、ほうれん草、ピーマン、水菜、サレタス、しそ、プリンストマト、きゅうり、小菊南京、栗なんきん、ほおずき	橋本農園、柳澤農園、岸田農園、光久隆晴農園	120人	17人
7月9日	くらしかんバザー	くらしかん	ジャガイモ、玉ねぎ、なんきん、なす、ししとう、すいか、ねぎ、水菜、しそ、ゴーヤ苗	柳澤農園、光久隆晴農園	100人	3人
8月7日	とよなかまつり	環境情報サロン	ジャガイモ、玉ねぎ、なんきん、プリンストマト、ゴーヤ、ねぎ、水菜、小松菜、赤しそ、なす、とうがん、ミトマ、キャベツ	柳澤農園、光久隆晴農園	60人	5人

10月29日	生活展	くらしかん	大根,紅かぶら,ほうれん草,さつまいも,大かぶら,みかん,中抜き大根,ねぎ,こ芋,水菜,ゆず,壬生菜,ブロッコリー,なす	柳沢農園、光久農園、岸田農園	130人	8人
11月5日	堆肥化講習会と同時開催	リサイクル交流センター横	大根,丸大根,大かぶら,さつまいも,なす,壬生菜,水菜,ほうれん草,菊菜	柳沢農園、岸田農園	70人	4人
12月2・3日	環境展	市民会館	大根,丸大根,大かぶら,ほうれん草,小松菜,ジャガイモ,さつまいも	柳澤農園	120人	15人
2月4日		くらしかん	ほうれん草,フケン菜,サトウ,丸大根,ジャガイモ,壬生菜,みず菜	柳澤農園 岸田農園	100人	4人
合計	8回				790人	66人

## イ 農地の活用

実施日	内容	実施場所	参加者数
5月10日	豊肥を使った農園見学とイチゴ収穫体験 (市広報掲載・市のマイクロバス利用)	リサイクルプラザと柳沢農園	16人
12月1日	大根の収穫	リサイクルプラザ	市民5人 メンバー5人
合計	2回		26人

### (6) 花いっぱい運動

花いっぱい運動グループは現在 27 団体となりました。11 月に総会をかねた交流会を実施しました。この他、有償頒布日等にあわせて栽培用の「とよっぴー」の配布を行い、それぞれのグループが取りにこられました。

### (7) 小曾根保育所の堆肥化連携と環境保全会議

堆肥化の項目で触れましたが、保育所では現在、生ごみを排出しないで自己処理（堆肥化循環）する方向にあります。浜在住の農家光久隆晴氏は、数年前から高川保育所と小曾根保育所・夢の鳥保育所の生ごみを畑に投入し堆肥化しています。市保育課も、光久農園で出来た安全な有機野菜を3箇所の保育園へスポット的に納入なども検討されつつあり、とよっぴーの循環とは別の保育所の循環の輪も確実にひろがっています。また、落ち葉などの有機物の堆肥化は、保育所によっては、植木が多い所などもあり、落ち葉や剪定枝も堆肥化を試行されています。全保育所へ一連の食の循環のこの取り組みの波及を期待して、今後活動への協力をNPOとして対応することになり、保育課を中心に小曾根・本町の園長と用務員さん・豊中市公園みどり推進課と環境政策課による会議に3回代表が出席しました。

(参考) 2005 年度 (平成 17 年度) 各部会・プロジェクトに参加している豊中市の部署

部会・プロジェクト	参画部署名
生活部会	環境政策室
	廃棄物対策室減量推進課
	市民生活課生活情報センターくらしかん
	クリーンランド業務管理課
自然部会	公園みどり推進課
	環境政策室
	下水道管理課
産業部会 (機密書類リサイクルプロジェクト)	環境政策室
	廃棄物対策室減量推進課
	商工労政課
交通部会	環境政策室
	土木下水道総務課
	道路管理課
	まちづくり支援課
竹炭プロジェクト	公園みどり推進課
企画屋本舗	環境政策室
	廃棄物対策室減量推進課
花と緑のネットワークとよなか	公園みどり推進課
	廃棄物対策室減量推進課

印：主担当

## 2005年度（平成17年度）収支計算書

2005年（平成17年）4月1日～2006年（平成18年）3月31日

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

（単位 円）

科目	予算額(ア)	決算額(イ)	差異(イ)-(ア)	備考
収入の部				
1 会費収入	950,000	923,000	27,000	
個人会費	200,000	193,000	7,000	1,000×193口
団体会費	750,000	730,000	20,000	5,000×146口
2 事業収入	210,500	194,545	15,955	
3 助成金収入	257,500	206,811	50,689	NEDO
4 寄付金収入	200,000	304,502	104,502	
5 負担金収入	13,738,000	14,687,400	949,400	豊中市・大阪府
6 受託事業収入	1,508,000	1,508,000	0	豊中市
7 雑収入	10,000	32	9,968	預金利子
当期収入合計(A)	16,874,000	17,824,290	950,290	
前期繰越金	2,692,430	2,692,430	0	
収入合計(B)	19,566,430	20,516,720	950,290	
支出の部			0	
1 事業費			0	
外注費	2,592,400	2,113,000	479,400	
什器備品費	400,000	1,416,045	1,016,045	
印刷費	1,513,000	1,743,929	230,929	
通信運搬費	488,400	414,394	74,006	
事務消耗品費	686,600	354,892	331,708	
旅費交通費	1,593,000	1,287,750	305,250	
諸謝金	1,609,106	1,147,768	461,338	
保険料	3,000	11,820	8,820	
雑費	1,311,000	610,349	700,651	
事業費計	10,196,506	9,099,947	1,096,559	
2 管理費			0	
給与手当	7,835,000	8,018,813	183,813	職員2名
福利厚生費	22,000	29,047	7,047	事務局用お茶代等
賃借料	164,000	163,800	200	コピー機リース代
什器備品費	50,000	8,830	41,170	事務局備品等
印刷費	310,000	221,236	88,764	コピー代等
通信運搬費	178,000	108,306	69,694	電話・メール便等
事務消耗品費	240,000	201,071	38,929	文具・紙類等
旅費交通費	10,000	56,920	46,920	
保険料	38,000	37,000	1,000	ボランティア保険
雑費	10,000	24,265	14,265	手数料・印紙等
管理費計	8,857,000	8,869,288	12,288	
3 予備費	402,924	0	402,924	
当期支出合計(C)	19,456,430	17,969,235	1,487,195	
当期収支差額(A)-(C)	2,582,430	144,945	2,437,485	
次期繰越金(B)-(C)	110,000	2,547,485	2,437,485	

## 貸借対照表

2006年(平成18年)3月31日現在

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

(単位 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	4,069,178	流動負債	1,521,693
現金	26,701	未払金	1,421,109
預金	3,338,477	預り金	100,584
三井住友	3,170,243		
労 金	129,234		
郵便貯金	39,000		
未収入金	704,000		
固定資産	0		
		繰越金	2,547,485
合計	4,069,178	合計	4,069,178

2005年度(平成17年度) 財産目録

2006年(平成18年)3月31日現在

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

(単位 円)

科目・摘要	金 額		
. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	26,701		
普通預金三井住友銀行	3,170,243		
普通預金近畿労働金庫	129,234		
郵便貯金	39,000		
未収入金	704,000		
流動資産合計		4,069,178	
2. 固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			4,069,178
. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,421,109		
預り金	100,584		
流動負債合計		1,521,693	
2. 固定負債			
固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			1,521,693
正味財産			2,547,485

2005 年度（平成 17 年度）事業報告及び決算に関する監査報告について

2005 年度特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 事業報告、財産目録、貸借対照表、収支決算書について、関係書類、貯金通帳等を監査しましたところ、いずれも適正に執行管理されていることを認め報告いたします。

2006 年（平成 18 年）6 月 12 日

特定非営利活動法人  
とよなか市民環境会議アジェンダ 21  
理事長 新開悦子様

監事

今井文子

中井健之

**特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21**  
**2005 年度（平成 17 年度）役員名簿**

（50 音順）

役職	氏名	所属等
理事長	新開 悦子	生活部会、企画屋本舗
副理事長	茨木 かづ子	産業部会、花と緑のネットワークとよなか
理事	井上 和彦	事務局長
	上田 峯子	自然部会
	易 信子	自然部会
	奥野 享	生活部会、花と緑のネットワークとよなか
	河野 猪太夫	自然部会
	高島 邦子	花と緑のネットワークとよなか
	中村 義世	花と緑のネットワークとよなか
	廣田 学	自然部会
	水野 辰彦	自然部会
	三宅 史郎	竹炭プロジェクト、自然部会
	宮田 健	生活部会
	光本 義一	産業部会
	山口 壽	自然部会
監事	今井 文子	生活部会、企画屋本舗
	中井 健之	企画屋本舗

任期：2004 年（平成 16 年）6 月 25 日～2006 年度（平成 18 年度）総会開催日



# 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 2006 年度（平成 18 年度）事業計画（案）

## 1．全体方針

### 『パートナーシップの関係を強化し、その輪を広げていく』

「豊中アジェンダ 21(改定版)」は、市民・事業者・行政がパートナーシップで実現するものであり、当法人はそれをみんながいかに実行できるかを考え、自ら率先して行動しながら、多くの人に「一緒に考えよう」、「一緒にやってみよう」と参加を呼びかけ、その情報が参加者からさらに知り合いにつながり、もっと多くの人へ波及していく、ということを目指しています。つまり、当法人の会員だけの行動では、豊中アジェンダ 21 は実現しないと考えています。

また、2006 年度は「とよなか市民環境会議」が設立されて 10 年になる年です（1996 年設立）。これまでの経過の中で築いてきた各方面とのパートナーシップを基礎にして、今後はそれを固めることと新たな連携を図ることにより、さらに豊中アジェンダ 21 の実現につながっていくことが期待できます。

そこで、当法人の 2006 年度の活動では、「パートナーシップの関係を強化し、その輪を広げていく」ことを全体方針として掲げます。NPO 全体でも各部会・プロジェクトでも、この方針に沿うよう様々な工夫をこらして活動を進めます。

例えば、できるだけ多くの市民が参加してもらえるような行事にする、地域組織や市民団体と一緒に取り組みを進める、環境以外の分野の団体とも連携する、学校と連携して環境学習を進める、大学との連携を働きかける、事業者の社会的責任と合致するような取り組みを進める、豊中市とのパートナーシップ関係を再確認する、市の環境以外の部署や府、国の機関との協働事業を進める、新しい関係作りにつながるような情報交換や取り組みに参加する、などを考慮して活動を進めていきます。

さらにこれらを発展させ、多様な市民の視点からのまちづくり提案、政策提言につながるような、学習・議論ができるような取り組みにもつなげていきたいと考えています。

## 2．全体事業

### (1) NPO 法人運営

NPO 法人の組織運営のため、定款に基づき、総会、理事会、特別理事会等を随時開催し、法人としての意思決定、情報交流、活動の企画運営等を進めていきます。また、このような法人運営事務や活動全般の事務作業のため、事務局をおいています。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：85・86・88

### (2) 環境情報サロンの運営

豊中市から運営を受託し、活動の拠点である「環境情報サロン」については、より一層の活用を図っていきます。具体的には、環境情報サロンを使った行事、夏の日よけとヒートアイランド対策、緑化などに効果のある「緑のカーテン」の設置、豊島公園が会場となる豊中まつりでの PR などを行います。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：82・84・85

### (3) とよなか市民環境展 2006 の開催

環境基本計画と共有する環境目標の中に、協働・パートナーシップ型活動の指標として環境展の参加者数があげられていることから、今年度の環境展についてもより充実したものにしていきます。今

年度は 12 月 1 日（金）・2 日（土）に開催する予定です。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：79・80・85・86

#### （４）環境学習への取り組み

環境学習リストを活用し、学校・地域・団体等の環境学習の機会を充実させるように取り組む他、自主事業としても積極的に学習の場を設けていきます。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：76・77・78・80・83・84

#### （５）服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会事業

大阪府池田土木事務所、豊中市と協働で事務局運営を行い、地域の組織や団体が主体的に地域の環境づくりに関われるような取り組みを進めていきます。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：22・24・27・33・34・74・76・77・79・80

#### （６）ESD とよなか事業

国連「持続可能な開発のための教育（ESD）」の 10 年にあわせ、豊中で具体的な取り組みを進めるために、当法人の役割を明確にして参加していきます。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：76・77・78・79・80・81・82・83

#### （７）多様な団体との連携事業

豊中市内外の環境分野以外の団体も含めた多様な組織・団体と連携し、様々な機会、様々なスタイルで、イベントや行事、事業に参加していきます。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：79・80・85

#### （８）「とよなか市民環境会議 10 年のあゆみ」作成

1996 年に設立した「とよなか市民環境会議」の 10 年のあゆみをまとめる取り組みを始めます。これは、今後行われる豊中アジェンダ 21 の本格見直しの際に、参考資料としても活用できるようにします。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：85・86

#### （９）広報活動

豊中アジェンダ 21 を進める活動をより多くの人に知ってもらうため、ニュースレターやホームページ、イベントでの展示など、多様な情報媒体を利用して情報の発信を行っていきます。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：85・86

### 3．生活部会

#### （１）エコライフカレンダーをつけて地球環境を守ろう

- ・エコライフカレンダー（環境家計簿）による省エネ型ライフスタイルの普及啓発
- ・家庭での電気・ガス・水道・ガソリンなどのエネルギーの節減や無駄使いを見直すため、環境家計簿を組み込んだ豊中市民版エコライフカレンダーを作成し、豊中市民を対象に、各家庭での省エネ、効率的なエネルギー利用の普及啓発を行う。
- ・2007 年版エコライフカレンダー（環境家計簿）を 2,500 部作成し、とよなか市民環境会議各種団体、とよなか市民環境会議アジェンダ 21 会員、前年のモニターのほか、市広報誌や出前環境学習・

市民環境展を通じて配布し、省エネルギーの普及啓発とモニターを募集する。

- ・環境家計簿のモニターから寄せられた、各家庭での二酸化炭素の排出量を集計分析することにより、一般的な豊中市民の二酸化炭素の排出量のモデルを把握、省エネ効果の見定めることに役立つ。
- ・モニター倶楽部（モニター通信）の発行（年3～4回）
- ・省エネルギーの環境学習会を開催して、効率的なエネルギー利用について理解を深める。
- ・エコライフカレンダー印刷費、省エネルギー学習会の費用はNEDOの補助金を申請する。

関係する豊中アジェンダ21（改定版）の行動提案項目：1・2・3・4・5・16・17

## （2）環境を大切にす消費生活を目指すグリーンコンシューマーになろう

- ・環境に配慮した商品の市場拡大のための学習会
- ・グリーンコンシューマーに関する学習会、シンポへの参加
- ・エコショップの調査

関係する豊中アジェンダ21（改定版）の行動提案項目：6・9・10・11・12・14・18

## （3）環境学習（環境教育）で環境人を育てよう

- ・環境出前学習会活動を進める
- ・エコライフカレンダー（環境家計簿）のつけ方を学び、省エネについて学ぶ。
- ・電気・ガス・水道の上手な使い方、省エネグッズの紹介
- ・地球温暖化のメカニズムとその影響についての理解と認識を深める。
- ・暮らしの中でごみを減らし再資源化を促進するために何ができるかを考え学ぶ。
- ・自転車発電をしたりしながら、エネルギーについて学ぶ。
- ・環境紙芝居を使って子どもたちと環境問題について学ぶ。
- ・環境学習のメニューづくりと指導員の育成
- ・外部講師による環境勉強会
- ・環境関連施設の見学
- ・環境関連資料の収集と調査
- ・環境関連の見学会・学習会など本事業を積極的に推進するために、今年度学習班グループ「寺子屋工房」を組織し担当することにした。

関係する豊中アジェンダ21（改定版）の行動提案項目：1・4・5・6・8・19・76・77・78・82

## （4）定例会などの会議、その他

- ・毎月1回の定例会、事業計画、事業報告など
- ・その他

## 4．自然部会

### （1）豊中の自然を守る活動

- ・島熊山の自然を守る活動：2006年4月、6月、2007年1月（年3回）  
雑木林に侵入した竹の伐採、倒木、枯枝の整理
- ・猪名川の自然を守る活動：市民へも呼びかけ清掃と手入れ
- ・天竺川の自然を守る活動：川床のごみ清掃
- ・羽鷹池の自然を守る活動：池周辺のくず刈り、草の手刈り

関係する豊中アジェンダ21（改定版）の行動提案項目：24・25・26・27

## (2) 自然学習講座

- ・「豊中の自然を見つめみんなで考えよう」をテーマに2001年からの継続事業
- ・年3回シリーズで、アジェンダ会員と市民が行政との協働のために豊中の自然を豊かにするための学習会
- ・本年度のテーマ(予定): 豊中の自然に生きる動物(生き物)と保全  
関係する豊中アジェンダ21(改定版)の行動提案項目: 21・24・25・34

## (3) 自然ふしぎ発見クラブ

- アジェンダ21の事務所がある環境情報サロンの設置住所の豊島公園を中心に事業を行っている
- ・目的: 身近な自然を四季を通して子ども対象に観察会と自然遊びとクラフトを行う。(保護者と子どもの共通の話題づくり)
  - ・対象: 5歳以上の子ども(保護者同伴)
  - ・回数: 年10回、月1回土曜日午前中
  - ・広報: チラシ配布、広報とよなかで募集  
関係する豊中アジェンダ21(改定版)の行動提案項目: 22・24・25

## (4) 自然観察会

- ・自然観察会(初夏・秋)
- ・水生生物観察会
- ・鳴く虫観察会
- ・水鳥観察会

以上を広報とよなかで市民に参加募集して実施

関係する豊中アジェンダ21(改定版)の行動提案項目: 22・24・25

## (5) 身近な環境調査 「ツバメ営巣調査・2006」

市民参加で行う自然調査

- ・5年ぶりに実施
- ・5月13日説明会
- ・調査期間 5月13日から8月20日
- ・市内をメッシュに区切り調査
- ・郵便にて事務所へ調査用紙を返送してもらう
- ・年内にまとめ、まとめの冊子を作成
- ・報告会の実施
- ・環境展でパネルにて展示

関係する豊中アジェンダ21(改定版)の行動提案項目: 21

## (6) 春日町竹林整備(ヒメボタル保全区域)

- ・ヒメボタル生息地の竹林、草地の整備
- ・ヒメボタル保護者会のメンバーとして、地域と行政の協働をはかる
- ・年間3~4回ヒメボタルを増やす草刈り
- ・竹林整備(竹の間伐)

関係する豊中アジェンダ21(改定版)の行動提案項目: 24・25

## (7) ピオトープづくり

上野坂公園の自然を育てる(ピオトープ池)

- ・上野自治会と公園みどり推進課と協働する
- ・自然の変化を記録する

新たなピオトープ作りに対応

関係する豊中アジェンダ 21(改定版)の行動提案項目:33・34

## (8) 公園自然度調査(豊中市営公園自然評価)

かつて春の野草調査時に調査員に努力目標で、調査依頼した経緯がある。

内容:アジェンダ 88 項目で 6 項目が該当するように、公園の自然は市民にとって身近な自然体験の場として、大切な場所である。しかし、公園管理の手法に、自然(草、木、昆虫、鳥への視点や雨水落葉への対応)保全の視点が入れているか不明である。(最近のアドプト制度では、地元任せきり)よって、豊中市の公園のすべての自然度カルテを作成し、アジェンダ 21 中項目の「自然の豊かな豊中にして行こう」の実現に向け、政策提言の資料とするものです。

- ・自然度カルテを作成し、市内の公園をくまなく歩き全公園のカルテを記入
- ・実態をまとめる
- ・内容を評価し対応を考える

関係する豊中アジェンダ 21(改定版)の行動提案項目:21・22・24・33・34・36・81

## (9) 稀少種調査(植物)まとめ

- ・2002 年 5 月からの継続事業
- ・2006 年 3 月 10 日に 2005 年までのまとめ冊子の発行
- ・2006 年度は未調査地の補充調査を実施(東泉丘、箕面自衛隊跡地)
- ・絶滅危惧植物についてリスト上で判定し、保全の対策を考える

関係する豊中アジェンダ 21(改定版)の行動提案項目:21・24・25・26・30

## (10) 定例会などの会議、その他

- ・月 1 回定例会、必要により臨時部会
- ・豊中まつり、生活展、環境展、行政、学校、地域への協力事業(くらしかん協力、スプリングフェスタ、ふれあいウォーク、その他)
- ・万博環境フェスティバル(大阪府)、きんき環境館行事など

関係する豊中アジェンダ 21(改定版)の行動提案項目:76・77・78・79・80・81・82・83・84・85・86

## 5. 産業部会

### (1) 学習会・見学会

主に事業者を中心に、事業活動の中での環境配慮や、事業者が抱える課題に即した情報提供などを行っていきます。また、実際の現場や実物を見て実感できるよう見学会を開催します。

関係する豊中アジェンダ 21(改定版)の行動提案項目:38~56

### (2) エコオフィスチェック表の作成

事業所で簡単にチェックできる「エコオフィスチェック表」を作成し、配布します。

関係する豊中アジェンダ 21(改定版)の行動提案項目:38~56

### (3) 機密書類リサイクルシステムの検討

機密書類のリサイクルシステムについて、2005年に検討した結果をまとめ、公表します。

関係する豊中アジェンダ 21 (改定版) の行動提案項目：46

## 6. 交通部会

### (1) EST 事業での連携

豊中市の EST (持続可能な交通) 事業の中で、市民・事業者・行政などが連携して行う事業について市と協働で進める。

関係する豊中アジェンダ 21 (改定版) の行動提案項目：57～75

## 7. 竹炭プロジェクト

今年度も竹切り及び竹炭焼きを柱に従来の事業を継続すると共に、新たに公園内の植物調査や野鳥観察を行いアジェンダの出前教室に備えたいと考えております。

・竹の間伐作業 24回/年

毎月2回を予定しております。今度は竹林内の整備に力を入れる予定です。

・竹炭焼き 8～9回/年

夏期及び日の短い時期を除いて上記程度を予定しております。

・製品作り 5回

すすや埃を払いカットして袋詰めを行います。

・整備と清掃 5回

公園の斜面の土が雨で流されて、木の根がむき出しになっている所が非常に多くあります。その為泥水が直接安場池に流入するのを少しでも抑えたいと思い土留め工事を行っております。

・竹工作 7回

小枝や自然物を使った工作及び竹細工をイベント時に行います。

・製品頒布 8回

イベント時に竹炭と竹酢液の頒布を行います。目標額(7万円)が達成できるように努力します。

・調査と観察

林内の植物調査と公園内の野鳥観察を継続的に行います。これらは体験者にも教えるようにしたいと考えております。

関係する豊中アジェンダ 21 (改定版) の行動提案項目：21・22・23・24・33・34

## 8. 企画屋本舗

### (1) わがまちとよなか再発見！ちょっといいとよなか見つけにいこかウォーク

豊中の自然、文化、歴史等の環境を楽しく知るために「まち」を切り口にウォーキングをする

関係する豊中アジェンダ 21 (改定版) の行動提案項目：70・74・79・80・81・85

### (2) 環境塾 親子で楽しむエコツアー

工場見学等を通じ、環境教育をまなぶ

・豊中市内の工場を見学し、環境への取り組みや努力、苦勞を学ぶと共に工場地域の特徴や自然環境の保全について考える。

・豊中アジェンダ 21 の普及、啓発とともに、この事業を他団体のパイロット事業として位置付け

る。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：78・79・80・84・85

### （3）定例会などの会議、その他

運営打合せ他

## 9．花と緑のネットワークとよなか

### （1）食の循環事業

とよっぴーを畑や水田に使用し、省農薬や無農薬で栽培された作物を地域で支え地域で消費する地産地消の推進。

- ・くらしかんバザーやイベントでの作物の有償頒布活動。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：13・14・37

### （2）花いっぱい運動

- ・地域の公園や空き地を利用してとよっぴーを使った花作りのネットワークを呼びかける。
- ・地域の課題やコミュニケーションについて交流を深める。
- ・アジェンダについても市民に PR する。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：32・35・36・37・85

### （3）環境学習

- ・小中学校などへの出前講習を行なう。
- ・（5）都市部における農と食育ワークショップ事業の資料作成と看板などの製作。

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：36・76・77

### （4）循環型社会形成推進活動

- ・食の循環
- ・堆肥化講習と助成事業
- ・見学対応
- ・環境教育

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：6・8・12・13・14・15・19・20・22・23・29・36・37・78・77・78・79・80・85・86

### （5）都市部で繋ぐ農と食育ワークショップ

- ・市営苗圃内の用地を借用し、青少年を対象にした植え付けから収穫までの農作業を体験させる。草引き・石ころ拾い・みずやり・観察など（じゃがいも・大豆・とうもろこし・さつまいもなど）
- ・食育フォーラムを開催する。学校給食関係・農家・栄養士・小学校の先生・大学教授など
- ・事業の成果報告書の作成

関係する豊中アジェンダ 21（改定版）の行動提案項目：8・14・20・85

### （6）定例会などの会議、その他

毎月1回定例会、事業計画、事業報告

その他

(参考) 2006 年度 (平成 18 年度) 各部会・プロジェクトに参画している豊中市の部署

部会・プロジェクト	参画部署名
生活部会	環境政策室
	廃棄物対策室減量推進課
	市民生活課生活情報センターくらしかん
	クリーンランド業務管理課
自然部会	公園みどり推進課
	環境政策室
	下水道管理課
	クリーンランド新炉建設課
産業部会	環境政策室
	廃棄物対策室減量推進課
	商工労政課
	クリーンランド保全操作課
交通部会	環境政策室
	土木下水道総務課
	道路管理課
	まちづくり支援課
竹炭プロジェクト	公園みどり推進課
	クリーンランド業務管理課
企画屋本舗	環境政策室
花と緑のネットワークとよなか	公園みどり推進課
	廃棄物対策室減量推進課
	クリーンランド総務課

印：主担当



## 2006年度（平成18年度）収支予算書

2006年（平成18年）4月1日～2007年（平成19年）3月31日

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

（単位 円）

科目	予算額(ア)	前年度予算額(イ)	増減(ア)-(イ)	備考
<b>収入の部</b>				
1 会費収入	950,000	950,000	0	
	200,000	200,000	0	1,000×200口
	750,000	750,000	0	5,000×150口
2 事業収入	219,500	210,500	9,000	
3 助成金収入	1,854,300	257,500	1,596,800	NEDO・JT
4 寄付金収入	500,000	200,000	300,000	
5 負担金収入	10,838,000	13,738,000	2,900,000	豊中市・大阪府
6 受託事業収入	1,408,000	1,508,000	100,000	豊中市
7 雑収入	1,000	10,000	9,000	預金利子等
当期収入合計(A)	15,770,800	16,874,000	1,103,200	
前期繰越収支差額	2,547,485	2,692,430	144,945	
収入合計(B)	18,318,285	19,566,430	1,248,145	
<b>支出の部</b>				
1 事業費				
外注費	1,000,000	2,592,400	1,592,400	
消耗什器備品費	420,700	400,000	20,700	
印刷費	1,649,000	1,513,000	136,000	
通信運搬費	395,200	488,400	93,200	
事務消耗品費	450,100	686,600	236,500	
旅費交通費	1,977,700	1,593,000	384,700	
諸謝金	879,998	1,609,106	729,108	
保険料	11,200	3,000	8,200	
雑費	658,800	1,311,000	652,200	
雑労務費	868,800			
事業費計	8,311,498	10,196,506	1,885,008	
2 管理費				
給与手当	8,035,000	7,835,000	200,000	職員2名
福利厚生費	30,000	22,000	8,000	事務局用お茶代等
賃借料	164,000	164,000	0	コピー機リース代
什器備品費	150,000	50,000	100,000	事務局備品等
印刷費	250,000	310,000	60,000	コピー代等
通信運搬費	120,000	178,000	58,000	電話・メール便等
事務消耗品費	240,000	240,000	0	文具・紙類等
旅費交通費	20,000	10,000	10,000	
保険料	38,000	38,000	0	ボランティア保険
雑費	25,000	10,000	15,000	手数料・印紙等
管理費計	9,072,000	8,857,000	215,000	
3 予備費	934,787	402,924	531,863	
当期支出合計(C)	18,318,285	19,456,430	1,138,145	
当期収支差額(A)-(C)	2,547,485	2,582,430	34,945	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	110,000	110,000	

**特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21**  
**定款変更（案）**

1．変更の内容

条文	新	旧
第 13 条 第 2 項	理事のうち、1 人を理事長、2 人以内を副理事長とする。	理事のうち、1 人を理事長、2 人を副理事長とする。

2．変更の理由

法人運営上、副理事長は必ずしも 2 人必要ではなく、2 人以内と変更することによって、柔軟な対応が図れるため。

**特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21  
新役員名簿（案）**

（50音順）

役職	氏名	所属等	備考
理事	井上 和彦	事務局長	
	茨木 かづ子	産業部会、花と緑のネットワークとよなか	
	今井 文子	生活部会、企画屋本舗	監事 理事
	上田 峯子	自然部会	
	奥野 享	生活部会、花と緑のネットワークとよなか	
	新開 悦子	生活部会、企画屋本舗	
	高島 邦子	花と緑のネットワークとよなか	
	中村 義世	花と緑のネットワークとよなか	
	橋本 幸子	生活部会	新任
	廣田 学	自然部会	
	水野 辰彦	自然部会	
	三宅 史郎	自然部会、竹炭プロジェクト	
	宮田 健	生活部会	
	光本 義一	産業部会	
	山口 壽	自然部会	
監事	易 信子	自然部会	理事 監事
	中井 健之	企画屋本舗	

任期：2006年6月21日～2008年度総会開催日

# 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 定款

## 第 1 章 総則

### (名称)

第 1 条 この法人は、特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21(略称 N P O 法人エコ市民豊中)という。英語名を Toyonaka Citizens Environmental Conference AGENDA21 とする。

### (事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を大阪府豊中市曽根南町 1 丁目 4 番 3 号 豊中市環境情報サロン内に置く。

### (目的)

第 3 条 この法人は、地域社会とそこに生活する市民、さらには未来を担う世代のために、安心して暮らせる環境が確保できるよう、かけがえのない地球環境の形成とやさしさに溢れた地域社会を目指した「豊中市環境基本計画」の理念及び目標と一致する市民活動計画である「豊中アジェンダ 21」の推進を図ることを通じて、持続的発展が可能な地域社会の実現に寄与することを目的とする。

### (活動に係る種類)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、特定非営利活動促進法(以下「法」という。)

第 2 条別表中、次の各号に掲げる特定非営利活動を行う。

環境の保全を図る活動

まちづくりの推進を図る活動

社会教育の推進を図る活動

学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動

子どもの健全育成を図る活動

地域安全活動

国際協力の活動

経済活動の活性化を図る活動

消費者の保護を図る活動

前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

### (事業に係る種類)

第 5 条 この法人は、第 3 条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

1 特定非営利活動に係る事業

環境の保全に関する調査研究及び実践並びに啓発普及の事業

環境と調和し共生したライフスタイルの調査研究及び実践並びに啓発普及の事業

環境と調和した持続的発展が可能な地域社会を創造するための調査研究及び実践並

びに啓発普及の事業

環境と調和したまちづくり推進のための調査研究及び実践並びに啓発普及の事業

環境教育の推進に関する調査研究及び実践並びに啓発普及の事業

環境活動を通じた子どもの健全育成に関する調査研究及び実践の事業

環境保全活動に関する国際交流や国際協力の事業

地域の安全、文化などにおける分野での環境に関する政策の提言及び政策推進の事業

2 その他目的を達成するために必要な活動

## 第 2 章 会員

### (種別)

第 6 条 この法人の会員は、次の 3 種とし、正会員をもって法上の社員とする。

正会員

第 3 条に規定する目的に賛同して入会した個人又は団体。

賛助会員

第 3 条に規定する目的に賛同して、この法人の事業を援助する個人又は団体。

特別会員

第3条に規定する目的に賛同して、この法人の健全な発展と政策立案並びに諸活動に関し、助言・協力する学識経験者等の個人で理事会が推薦する者。

(入会)

第7条 正会員又は賛助会員として入会しようとする者は、その旨を記載した入会申込書を理事長に提出し、その承諾を受けなければならない。

2 理事長は、前項の申し込みについては、正当な理由がない限り入会を認めることとするが、入会を認めない場合は、理事会の承認を経た上で、その理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

3 理事会から特別会員に推薦された者は、入会の手続きを必要とせず、本人の承諾をもって会員となる。

(会費)

第8条 正会員及び賛助会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

2 会員が、次の各号のいずれかに該当する場合には、退会したものとみなすことができる。本人が死亡又は会員である団体が消滅したとき。

会費を1年以上滞納し、相当の期間を定め催告してもこれに応じず、理事会において支払いの意思がないと認定した者。

(除名)

第10条 会員が次の各号のいずれかに該当する場合は、総会において社員総数の3分の2以上の議決により除名することができる。

ただし、その会員に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。

法令又はこの法人の定款に違反したとき。

この法人の秩序を著しく害し、又は、公序良俗に反する行為をしたとき。

この法人の名誉を棄損し、又は設立の目的に違反する行為をしたとき。

(会費などの不返還)

第11条 この法人は、すでに会員が納入した会費及びその他の拠出金品はその理由を問わず、これを返還しない。

### 第3章 役員

(役員の種類及び定数)

第12条 この法人に次の役員を置く。

理事 13人以上 20人以内

監事 2人以上 3人以内

(役員を選任)

第13条 役員は、総会において正会員又は正会員である団体の代表者の中から選任する。

2 理事のうち、1人を理事長、2人を副理事長とする。

3 理事長及び副理事長は理事の中から互選により定める。

4 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が、役員総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

5 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねてはならない。

(職務)

第14条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総括する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき、又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によりその職務を代行する。

3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

4 監事は、次に掲げる業務を行うものとし、その執行にあたって必要なときはいつでも理

事に対して報告を求め、調査することができる。

理事の業務執行の状況を監査すること。

この法人の財産の状況を監査すること。

前 2 号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は大阪府知事に報告すること。

前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。

理事の業務執行状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

(任期)

第 15 条 役員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠又は増員により再任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

3 前 2 項の規定にかかわらず、任期の末日において後任の役員が選出されていないときは、その任期を、任期の末日後、最初の社員総会が終結するまで延長する。

(欠員補充)

第 16 条 理事又は監事のうち、その定数の 3 分の 1 を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第 17 条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会の議決に基づいて解任することができる。

ただし、その役員に対し議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。

職務上の義務違反、その他役員として相応しくない行為があると認められるとき。

(役員の報酬)

第 18 条 役員は、その総数の 3 分の 1 以下の範囲内で報酬を受けることができる。

2 役員には、その業務執行に必要な費用を支弁することができる。

3 前 2 項に関し必要な事項は、予算の範囲内で理事会の議決を経て別に定める。

(顧問)

第 19 条 役員の外に、顧問を置くことができる。

2 顧問は理事会において選任する。

3 顧問の任期は 2 年とする。

4 顧問は、理事長より相談ごとの申請があれば、その解決のために努力する。

## 第 4 章 総会

(総会)

第 20 条 総会は、この法人の最高意思決定機関であって正会員をもって構成する。

2 総会は、通常総会と臨時総会とする。

(総会の機能)

第 21 条 総会は以下の事項について議決する。

定款の変更

解散及び合併

事業計画及び収支予算の承諾

事業報告及び収支決算の承諾

役員の選任又は解任、及び職務

会費の額

長期借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄

その他理事会において重要と認め報告された事項

その他運営に関する重要事項

(開催)

第 22 条 通常総会は、毎年 1 回開催とする。

- 2 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。  
理事会が必要と認めたとき。  
正会員の5分の1以上から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。  
監事が第14条第4項第4号の規定により招集したとき。

(総会の招集)

第23条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き理事長が招集する。

- 2 理事長は前条第2項第2号の規定による請求があった場合は、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第24条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選任する。

(総会の定足数)

第25条 総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第26条 総会における議決事項は、第23条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 総会の議決事項はこの定款に規定するもののほか、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議決に加わることはできない。

(総会における議決権等)

第27条 正会員の議決権は、1人又は1団体につき、1単位とする。

- 2 やむをえない理由のため、総会に出席できない正会員は、あらかじめ書面をもって議決し、又は他の正会員を代理人として議決を委任することができる。
- 3 前項の場合における前2条の規定の適用については、その正会員は総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第28条 総会の議事については、次に掲げる事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。

日時及び場所

正会員の現在数

出席した正会員の数(書面表決者及び表決委任者については、その旨を明記すること)

審議事項及び議決事項

議事の経過の概要及びその結果

議事録署名人の選任に関する事項

- 2 議事録には、その会議において出席した正会員の中から選任された議事録署名人2人以上が、議長とともに署名押印しなければならない。

## 第5章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第30条 この定款で別に定めるもののほか、次に掲げる事項を議決する。

総会に付すべき事項

総会の議決した事項の執行に関する事項

その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(理事会の開催)

第31条 理事会は、次の各号のいずれか該当する場合に開催する。

理事長が必要と認めたとき。

理事現在数の 4 分の 1 以上の理事から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。

(招集)

第 32 条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事会を招集するときは、審議に付すべき事項並びに日時及び場所を示した書面をもって、少なくとも開催日の 5 日前までに、理事に対し、通知しなければならない。

ただし、全理事の出席と同意がある場合は、この招集手続きを経ずして直ちに開催することができる。

(議長)

第 33 条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(議決等)

第 34 条 理事会は、理事現在数の過半数以上の出席がなければ開会することができない。

2 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか出席理事の過半数をもって決する。

(議事録)

第 35 条 理事会の議事については、議長において議事録を作成し、議長及び出席理事の中から選任された議事録署名人 1 人が署名押印する。

## 第 6 章 特別理事会及び委員会設置等

(特別理事会)

第 36 条 第 6 条第 3 号で定める特別会員により、この法人の事業活動並びに活動計画等を専門的立場から検証・評価・提案するための機関として、特別理事会を設置することができる。

2 特別理事会の組織及び運営に関して必要な事項は、理事会において定める。

(委員会等)

第 37 条 理事会は、事業の円滑な執行を図るため、委員会、研究会又は部会及びプロジェクト(以下「委員会等」という。)を設置することができる。

2 委員会等は、その目的とする事項について、調査研究、又は事業を執行する。

3 委員会等の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において定める。

## 第 7 章 資産、会計及び事業計画

(資産の構成)

第 38 条 この法人の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

財産目録に記載された財産

会費

寄附金品及び助成金

財産から生じる収入

事業に伴う収入

その他の収入

(資産の管理)

第 39 条 資産は理事会の議決を経て理事長が管理し、その方法は、理事長が別に定める。

(会計の原則)

第 40 条 この法人の会計は、法第 27 条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

(経費の支弁)

第 41 条 この法人の経費は、資産をもって支弁する。

(特別会計)

第 42 条 この法人の会計は、必要に応じて特別会計を設けることができる。



(事業計画及び予算)

第 43 条 この法人の事業計画及び収支予算は、理事長が作成し、総会の承諾を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。

- 2 予算成立後にやむを得ない事由が生じたときは、前項の規定にかかわらず、理事会の議決を経て、予算の追加又は更正することができる。  
ただし、追加又は更正した予算は、直近の総会で報告しなければならない。

(予備費の設定及び使用)

第 44 条 前条に規定する予算には、予算経過又は予算外の支出に充てるため、予備費を設けることができる。

- 2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第 45 条 第 43 条の規定にかかわらず、やむを得ない事由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前年度の予算に準じて収入支出することができる。

- 2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第 46 条 理事長は、毎事業年度終了後 3 ヶ月以内に、事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支決算書を作成し、監事の監査を経て、総会の承諾を得なければならない。

- 2 会計の決算上、剰余金が生じたときは、翌事業年度の繰り越すものとし、構成員に分配してはならない。

(臨機の措置)

第 47 条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借り入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、総会の議決を経なければならない。

(事業年度)

第 48 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

## 第 8 章 事務局

(設置)

第 49 条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 1 事務局には、事務局長とその他の職員を置くことができる。
- 2 事務局の職員は、理事長が任命する。
- 3 理事は事務局長、若しくは事務局員を兼任することができる。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において定める。

(備置き書類)

第 50 条 事務局は主たる事務所において、特定非営利活動促進法第 28 条に規定される書類のほか、次に掲げる書類を常に備えておかなければならない。

- 会員名簿及び会員の異動に関する書類
- 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類

## 第 9 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 51 条 この定款の変更は、総会に出席した正会員の 4 分の 3 以上の多数による議決を経なければならない。

(解散)

第 52 条 この法人は、次に掲げる事由によって解散する。

- 総会の決議
- 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
- 正会員の欠亡
- 合併

破産

大阪府知事による設立の認証の取り消し

- 2 前項第 1 号の事由による解散に関する議事は、正会員総数の 3 分の 2 以上の議決を得なければならない。

( 残余財産の帰属 )

第 53 条 この法人が解散したとき（合併又は破産による解散を除く）に有する残余財産は、総会の議決を経て、次の各号のいずれかに該当するものに譲渡する。

特定非営利活動法人

民法第 34 条に規定により設立された法人

( 合併 )

第 54 条 第 52 条第 2 項規定は、合併に関する事項に準用する。

## 第 10 章 雑則

( 公告 )

第 55 条 この法人の公告は主たる事務所に掲示するほか、官報により行う。

( 委任 )

第 56 条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附則

1 この定款は、この法人の設立の日から施行する。

2 この法人の設立時の会費は、第 8 条の規定にかかわらず、次の各号に掲げるものとする。

正会員

個人 会費年額一口 1,000 円

団体 会費年額一口 5,000 円

賛助会員

個人 会費年額一口 1,000 円

団体 会費年額一口 5,000 円

3 この法人の設立当初の役員並びに役職は、第 13 条第 1 項及び第 3 項の規定にかかわらず、次に掲げるとおりとし、その任期は第 15 条第 1 項の規定にかかわらず 2004 年（平成 16 年）6 月 30 日までとする。

理事長

河野 猪太夫

副理事長

茨木 かつ子、新開 悦子

理事

上田 峯子、易 信子、大岡 一馬、奥野 享、高島 邦子、中村 義世、

堀 正恒、水野 辰彦、三宅 史郎、宮田 健、山本 和子、山口 壽

監事

今井文子、中井健之

4 この法人の設立年度の事業計画及び収支予算は、第 43 条第 1 項の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。

5 この法人の設立初年度の事業年度は、第 48 条の規定にかかわらず、成立の日から平成 16（2004）年 3 月 31 日までとする。

特定非営利活動法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21

設立代表者氏名 河野猪太夫

平成 16 年 6 月 25 日改正